

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の 平成 25 年度進捗状況について

1 社会像別の進捗区分による進捗管理

京都市地球温暖化対策計画（以下、計画）に掲げる取組の進捗について、表 1 のとおり 4 項目に区分し、進捗状況を把握している。

なお、平成 25 年度末に計画を改定しているが、平成 25 年度は改定前であるため旧計画に掲げた 108 の取組について進捗状況を調査している。

表 1 進捗区分別の基準

区 分	説 明	進捗区分の判断基準例（事業の性質別）		
		施設整備の場合	計画策定の場合	事業実施の場合
A	実施済み又は本格実施中	実施済み又は実施中	建設工事着工～竣工前	審議会等での審議開始 実施～
B	実施前最終段階	方針・内容等がほぼ固まり、実施の一手前にある	基本設計 実施設計	審議会構成や諮問事項の確定後 審議開始前 実施内容・時期の決定～実施前
C	企画構想段階	実施内容等について検討中	基本構想 基本計画	庁内プロジェクト、検討会議などでの具体的な検討開始 地元とのワークショップ、庁内プロジェクトなどで具体的な検討開始
D	着手前	検討を始めていない	検討開始前	検討開始前

（１）進捗状況

計画に掲げている 108 の具体的取組において、実施済み又は本格実施中は 98、実施前最終段階は 3、企画構想段階は 4、着手前は 3 となっている。

進捗区分	総数	A 実施済み又は 本格実施中	B 実施前 最終段階	C 企画構想 段階	D 着手前
取組数	108	98 (85)	3 (5)	4 (10)	3 (8)
割合	100%	90.7% (78.7%)	2.8% (4.6%)	3.7% (9.3%)	2.8% (7.4%)

※（ ）内は平成 24 年度の進捗調査時

(2) 類型別の進捗状況

108 の取組をハード対策及びソフト対策など取組の性質別に分類し、進捗状況をまとめた。

		計	A	B	C	D	Aの割合
ハード	都市基盤整備	14	9	2	3		64.3%
	緑地保全	8	8				100.0%
	公共施設への導入	6	5	1			83.3%
ソフト	普及啓発・環境教育	22	21			1	95.5%
	助成・融資	8	8				100.0%
	義務付けなど	14	12			2	85.7%
	その他	36	35		1		97.2%
合計		108	98	3	4	3	90.7%

進捗区分（A：実施済み又は本格実施中，B：実施前最終段階 C：企画構想段階，D：着手前）

2 平成 25 年度に実施した社会像別の代表的な取組

※ No.は添付の進捗状況の詳細資料の整理 No.です。

社会像 1 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

No.9 四条通の歩道拡幅と公共交通優先化

歴史的都心地区を中心とした「まちなか」において、四条通の歩道拡幅と公共交通優先をはじめとする、安心・安全で快適な歩行空間の確保や賑わいの創出など、人と公共交通を優先した魅力あるまちづくりを目指す「歩いて楽しいまちなか戦略」を推進している。

○四条通の歩道拡幅

- ・ 四条通の歩道拡幅と公共交通優先化の都市計画決定を平成 23 年度に行い、関係事業者との協議や意見交換を進めながら、平成 25 年度には詳細設計に着手した。



○路上の荷さばき車両削減に向けた取組

- ・ 路上の荷さばき車両の削減に向けた取組として、駐車料金を商店街と市が負担する「新京極商店街における社会実験」や、荷さばき車両が利用可能な駐車場を掲載した「荷さばき駐車場マップ」の配布などを行った。



社会像 2 森を再生し「木の文化」を大切にするまち

No.37 三山森林景観保全・再生ガイドラインの推進

京都を代表する景勝地の一つである嵯峨・小倉山では、その優れた森林景観美を取り戻すため、同ガイドラインに基づき平成 25 年 4 月に「小倉山の再生に向けた事業計画」を策定するとともに、これを地域組織や地元寺院、民間企業などと共に推進するための支援協定を同年 5 月に締結し、「小倉山再生プロジェクト」として協働による森林景観づくりに取り組んでいる。



アカマツ林再生に向けた植樹活動

No.55 「市民協働発電制度の実施」

○「市民協働発電制度」の拡大

- ・平成 24 年度に開始した 3 施設に加え、平成 25 年度に新たに運営主体を選定した 6 施設のうち、平成 26 年 7 月現在で 4 施設が稼働している。

○「太陽光発電屋根貸し制度」の開始

- ・平成 25 年度から運営主体の募集を開始し、10 団体 22 施設を選定した。平成 26 年 7 月現在で 16 施設が稼働している。
- ・市民協働発電制度と太陽光発電屋根貸し制度を合わせると平成 26 年度内に 1 MW の発電出力となり、一般家庭の約 250 世帯が 1 年間に使用する電力量を発電することができる。

＜市民協働発電の運営主体と設置施設＞

運営主体	設置施設	発電能力 (kW)
一般社団法人 びっくりエコ発電所	大將軍小学校	43.0
	西京まち美化事務所	49.0
	大枝中学校	54.0
	春日丘中学校	44.0
	西京高等学校	28.0
一般社団法人 市民エネルギー京都	山科まち美化事務所	48.7
	道の駅ウッディー京北	18.2
	深草小学校	52.8
	南部まち美化事務所	51.0
合計 9 施設		388.7

※深草小学校、南部まち美化事務所は稼働予定

ウッディー京北の設置パネル



No.62 岡崎地域等における新たなエネルギーマネジメントシステムの構築

○岡崎地域の公共施設におけるエネルギーネットワークの展開を目指す取組

「スマートシティ京都研究会」での検討をもとに、岡崎地域の公共施設への BEMS や再エネ設備等の導入と、各施設の BEMS をネットワーク化した CEMS 構築によるエネルギーマネジメントを実現し、公共施設間でのエネルギーの融通・効率化の先導モデルの構築に向けて取り組んでいる。

- ・京都市動物園への BEMS 導入
エネルギーの活用状況の計測、「見える化」や、園内の再生可能エネルギーの発電状況等を表示するデジタルサイネージを導入した。
- ・再生可能エネルギーの導入
国際交流会館へ太陽光発電(10kW)を導入した。



デジタルサイネージ画面例

No.58 小水力発電の導入の推進

○「岡崎らせん水車発電プロジェクト」の推進

- ・ 岡崎地域における「エネルギーとエコのショーケース」の実現と、将来のものづくり人材の育成を目指し、伏見工業高校が製作する「らせん水車」を、琵琶湖疏水扇ダム放水路に設置。(平成 26 年 3 月～)
- ・ 発電電力は、動物園での活用に向けた実証として、桜のライトアップの電力の一部に利用。

扇ダム放水路に設置した「らせん水車」



社会像 4 環境にやさしいライフスタイル

No.71 子どもへの環境教育の推進

子どもの視点からライフスタイルを見直し、「環境に配慮した生活」(エコライフ)を実践していく取組として、家族とともに「子ども版環境家計簿」を活用してエコライフを学び実践する「こどもエコライフチャレンジ推進事業」を全市立小学校で行っている。

○京都市の環境教育、マレーシアへ

- ・ マレーシアのイスカンダル開発地域では、京都市の協力のもと、マレーシア版「こどもエコライフチャレンジ」を開発し、平成 25 年 9 月から 11 月まで、26 校でモデル実施された。



マレーシアの児童たちによる表敬訪問

No.74 「エコ学区、エコ商店街、エコ大学など新たな『エコ・コミュニティ』の創設」

○地域ぐるみでエコ活動に取り組む「エコ学区」を全市に拡大

- ・ 平成 24 年度まで各区役所・支所域内で 1 学区をモデル学区として、省エネの推進、環境学習、地域実験に取り組んできた。
 - ・ 平成 25 年度からは、3 年間で市内全学区(222 学区)が「エコ学区」となることを目指している。
 - ・ 各学区の要望に応じて、くらしの匠やうちエコ診断の実施のほか、学習会の開催や支援物品の配布など地域住民の主体的なエコ活動を支援している。
- (平成 26 年 7 月末 193 学区)



松ヶ崎エコ学区での地域実験(里山整備)

No.81「京都府・経済界との連携による『京都産業育成コンソーシアム』の設立」

○京都産業エコ・エネルギー推進機構

- ・ グリーンイノベーションを推進するために、「京都産業育成コンソーシアム」ステアリングコミティでの決定に基づき、平成 24 年 7 月に設立した「京都産業エコ・エネルギー推進機構」を平成 25 年 3 月に一般社団法人化して組織・体制を強化し、以下の事業により環境・エネルギー分野における企業活動の支援を進めている。

- ◆ 京都企業グリーンイノベーション市場参入支援事業
- ◆ 京都エコスタイル製品振興事業
- ◆ 中小事業者省エネ・節電診断
- ◆ 中小事業者への省エネ・節電設備導入補助金
- ◆ 中小事業者等 KES 認証普及促進事業補助金

No.82「研究成果を生かした環境・エネルギー関連産業などの育成・振興」

○革新的な省エネを実現する SiC デバイスの社会実装に向けた取組

- ・ これまで産学公連携で取り組んできた研究開発事業「京都環境ナノクラスター」の成果の 1 つである SiC（シリコンカーバイド、炭化ケイ素）パワーデバイスの量産化を受け、社会実装（様々な機器への搭載による社会での活用）に向けた新事業創出の取組をスタート。（独立行政法人科学技術振興機構（JST）公募事業「スーパークラスタープログラム」に採択され、平成 25 年 12 月から事業開始。）



SiC パワーデバイス

※SiC…すぐれた物性を持つ化合物。交流・直流変換など電圧や周波数の制御に使われている Si（ケイ素）デバイスを SiC に置き換えることで電気エネルギーの損失を大幅に低減でき、低環境負荷社会の実現に大きく寄与する。

○京都次世代エネルギーシステム創造戦略の推進

- ・ 京都に多数集積する大学、研究開発型企業、産業支援機関、インキュベーター施設等のポテンシャルを最大限に生かした知のネットワークを構築し、これらを有機的に連携させることで、オール京都体制によるエネルギー分野の課題解決に焦点を当てた研究開発・事業化を進める取組をスタート。（文部科学省公募事業である「地域イノベーション戦略支援プログラム」に採択され、平成 25 年 8 月から事業開始。）
- ・ 研究テーマとして、排出された二酸化炭素を原料として新規燃料を製造し、電力の貯蔵を化学的に行う「エネルギーを蓄える」システム、水素発生剤や触媒などの燃料電池のキーとなる材料を開発して「エネルギーを創る」システム、省力化して半導体パワー素子で直流を交流に変える「エネルギーをうまく使う」システムの研究開発を進める。

社会像 6 ごみの減量

徹底した分別によるリサイクルの推進

○一般家庭における「雑がみの分別・リサイクル」の全市展開

- ・平成 25 年 7 月から平成 26 年 3 月まで，一般家庭約 11,000 世帯を対象に，家庭から出る燃やすごみの約 3 割を占める「紙ごみ」のうち，分別が進んでいない「雑がみ」の分別・リサイクルの社会実験を行った。
- ・平成 26 年 6 月からは，市民・民間業者・行政の 3 者協働による「京都ならではの回収の仕組み」により，全市展開を行っている。



整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
1	1.「既存公共交通の取組(既存公共交通の利便性向上)」	公共交通利便性向上施策	洛西地域におけるバス利便性の向上	洛西地域を運行するバス・鉄道事業者の連携により、複数事業者のバスダイヤ、系統、乗場、案内表示の一元的な見直しを図り、地域の公共交通の利便性を向上させ、他地域の事業者の連携モデルとします。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円
						○実施 ○公共交通利用促進策(西京区民ふれあいまつりでのブース設置、バス乗車体験等)の実施 ○京都市域における鉄道・バスの利便性を向上するため、洛西地域での取組をベースに、複数の交通事業者が結節する駅(四条大宮、出町柳)において乗換案内等の充実を実施	○公共交通利用促進策(洛西さくらまつりでのブース設置、バス乗車体験等)の実施 ○四条大宮及び出町柳において、のりば案内図・路線図を設置・更新 ○四条通において、公共交通の案内のあり方をはじめ、既存案内看板の充実や公共交通を利用したまちなかの活性化を検討	○公共交通利用促進策(洛西さくらまつりでのブース設置、バス乗車体験等)の実施 ○四条大宮及び出町柳において、のりば案内図・路線図を設置・更新 ○四条通において、公共交通の案内のあり方をはじめ、既存案内看板の充実や公共交通を利用したまちなかの活性化を検討	○公共交通利用促進策(洛西さくらまつりでのブース設置、バス乗車体験等)の実施 ○四条大宮及び出町柳において、のりば案内図・路線図を設置・更新 ○四条通において、公共交通の案内のあり方をはじめ、既存案内看板の充実や公共交通を利用したまちなかの活性化を検討
						6,800(0)(「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化の一部を充当)	5,400(0)(「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化の一部を充当)	4,900(0)(「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化の一部を充当)	8,239(0)(「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化の一部を充当)
2	1.「既存公共交通の取組(既存公共交通の利便性向上)」	公共交通利便性向上施策	京都駅南口駅前広場の整備	京都市内最大のターミナルである京都駅の南口駅前広場を、「使いやすい」「やさしい」「美しさ」「おもてなし」「賑わい」を実感できる駅前広場としてリニューアルします。	□実施済み又は本格実施中 ■実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円
						○各施設の規模・形状の検討 ○交通量調査(5月) ○路幅測量(2月)	○平成23年3月に実施 ○洛西地域公共交通利便性向上検討ワーキンググループへの参加	○洛西地域公共交通利便性向上検討ワーキンググループへの参加	○洛西地域公共交通利便性向上検討ワーキンググループへの参加
						26,500(0) 26,177(0)	103,000(55,660) 7,034(0)	262,080(131,351) 【内、繰越分94,580】	1,404,100(756,100)
3	1.「既存公共交通の取組(既存公共交通の利便性向上)」	公共交通利便性向上施策	市内共通乗車券の創設	鉄道・バス事業者のネットワークを最大限に生かし、市内の電車・バスが乗り降り自由となる、使い勝手の良い乗車券(京都フリーパス)を創設します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円
						○京都フリーパスの創設	○見直し・充実	○見直し・充実	○「電車・バスでまわる『歩くまち・京都』京都フリーパス」の販売 ○大人券の通信販売を開始
						6,800(0)(「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化の一部を充当)	5,400(0)(「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化の一部を充当)	4,900(0)(「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化の一部を充当)	8,239(0)(「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化の一部を充当)



整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	
4	1.「既存公共交通」の取組(既存公共交通の利便性向上)	公共交通利便性向上施策	駅などのバリアフリー化の推進	高齢者や障害のある方をはじめ、誰もが公共交通を利用して円滑に移動できるユニバーサル社会の実現を目指して、駅などの旅客施設及びその周辺の道路などのバリアフリー化を推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○駅などのバリアフリー化の推進	○京都市みやこユニバーサルデザイン審議会(利用しやすい施設づくり部会)の開催(3月) ○阪急電鉄洛西口駅高架駅設置工事に伴う事前意見聴取	○京都市みやこユニバーサルデザイン審議会(利用しやすい施設づくり部会)の開催(10.3月) ※10月:阪急電鉄洛西口駅高架駅設置に伴う事後検証	
						イ進捗状況	ウ予算額(うち国)千円 5,363(0)	512(0) 357(0)	583(0) 253(0)	583(0)
						計画	○駅などのバリアフリー化の推進	○太秦地区及び大宮地区において「基本構想」を策定		
						イ進捗状況	○「京都市交通バリアフリー推進検討会議」の設置(7月) ○「京都市交通バリアフリー推進検討会議」の開催(7月、11月、12月、3月) ○「歩くまち・京都」交通バリアフリー全体の構想の策定(3月)	○24年度に「移動等円滑化基本構想」を策定する「重点整備地区」として、太秦地区及び大宮地区を選定(4月) ○「太秦地区バリアフリー移動等円滑化基本構想策定連絡会議」の設置及び開催(7月、10月、11月、2月) ○「太秦地区バリアフリー移動等円滑化基本構想(素案)」に対するパブリックコメントの実施(11月26日～12月25日) ○「太秦地区バリアフリー移動等円滑化基本構想」の策定(3月) ○「大宮地区バリアフリー移動等円滑化基本構想策定連絡会議」の設置及び開催(8月、10月、11月、2月) ○「大宮地区バリアフリー移動等円滑化基本構想(素案)」に対するパブリックコメントの実施(12月18日～1月16日) ○「大宮地区バリアフリー移動等円滑化基本構想」の策定(3月)	○25年度に「移動等円滑化基本構想」を策定する「重点整備地区」として、JR藤森地区・深草地区及び西院地区を選定(4月) ○「JR藤森・深草地区バリアフリー移動等円滑化基本構想策定連絡会議」の設置及び開催(5月、8月、11月、2月) ○「西院地区バリアフリー移動等円滑化基本構想策定連絡会議」の設置及び開催(6月、8月、10月、2月) ○「JR藤森・深草地区バリアフリー移動等円滑化基本構想(素案)」に対するパブリックコメントの実施(11月21日～12月20日) ○「西院地区バリアフリー移動等円滑化基本構想(素案)」に対するパブリックコメントの実施(11月21日～12月20日) ○「JR藤森地区バリアフリー移動等円滑化基本構想」の策定(3月) ○「深草地区バリアフリー移動等円滑化基本構想」の策定(3月) ○「西院地区バリアフリー移動等円滑化基本構想」の策定(3月)	46,800(0)

社会像1 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

[illegible]

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像1 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
7	1.「既存公共交通の取組(既存公共交通の利便性の向上)」	公共交通の利便性向上施策	交通情報通信システムの開発	バス車内における目的地到着予定時刻案内、乗継ぎ案内などの交通情報や目的地周辺の最新の観光情報を提供し、利便性を向上させるシステムを開発します。	☒ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画 イ進捗状況 ○EVバス車内における情報通信システムの開発のための民間企業との共同実験の検討 ウ予算額(うち国)千円 0 エ決算額(うち国)千円 0	計画 イ進捗状況 ○EVバス車内における情報通信システムの開発のための民間企業との共同実験の検討 ウ予算額(うち国)千円 0 エ決算額(うち国)千円 0	計画 イ進捗状況 ○EVバス車内における情報通信システムの開発のための民間企業との共同実験の検討 ウ予算額(うち国)千円 0 エ決算額(うち国)千円 0	計画 イ進捗状況 ○EVバス車内における情報通信システムの開発のための民間企業との共同実験の検討 ウ予算額(うち国)千円 0 エ決算額(うち国)千円 0
						計画 イ進捗状況 ○EVバス車内における情報通信システムの開発のための民間企業との共同実験の検討 ウ予算額(うち国)千円 0 エ決算額(うち国)千円 0	計画 イ進捗状況 ○EVバス車内における情報通信システムの開発のための民間企業との共同実験の検討 ウ予算額(うち国)千円 0 エ決算額(うち国)千円 0	計画 イ進捗状況 ○EVバス車内における情報通信システムの開発のための民間企業との共同実験の検討 ウ予算額(うち国)千円 0 エ決算額(うち国)千円 0	計画 イ進捗状況 ○EVバス車内における情報通信システムの開発のための民間企業との共同実験の検討 ウ予算額(うち国)千円 0 エ決算額(うち国)千円 0
8	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	「歩くまち・京都」を支える歩行空間の充実	東大路通の自動車抑制と歩道拡幅	多くの市民、観光客が訪れる東大路通などにおいて、歩行空間の拡大と交通安全性の向上及び自動車交通の抑制を図ります。	☐ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☒ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画 イ進捗状況 ○歩行空間創出推進会議の設置について関係者との協議 ○東大路通歩行空間創出推進会議の開催(4月, 8月, 3月) ○シンポジウム「歩いて楽しい東大路」の開催(3月) ウ予算額(うち国)千円 3,000(0) エ決算額(うち国)千円 2,945(0)	計画 イ進捗状況 ○歩行空間創出推進会議の設置について関係者との協議 ○東大路通歩行空間創出推進会議の開催(4月, 8月, 3月) ○パブリックコメントの実施(5月25日～6月25日) ○「東大路通整備構想」の策定(8月) ○交通調査の実施(12月) ウ予算額(うち国)千円 3,000(0) エ決算額(うち国)千円 16,610(0)	計画 イ進捗状況 ○「東大路通歩行空間創出推進会議」の開催(9月, 3月) ○交通調査の実施(11～12月) ウ予算額(うち国)千円 50,000 エ決算額(うち国)千円 30,500(0)	計画 イ進捗状況 ○「東大路通歩行空間創出推進会議」の開催(9月, 3月) ○交通調査の実施(11～12月) ウ予算額(うち国)千円 50,000 エ決算額(うち国)千円 30,500(0)
						計画 イ進捗状況 ○歩行空間創出推進会議の設置について関係者との協議 ○東大路通歩行空間創出推進会議の開催(4月, 8月, 3月) ○パブリックコメントの実施(5月25日～6月25日) ○「東大路通整備構想」の策定(8月) ○交通調査の実施(12月) ウ予算額(うち国)千円 3,000(0) エ決算額(うち国)千円 16,610(0)	計画 イ進捗状況 ○歩行空間創出推進会議の設置について関係者との協議 ○東大路通歩行空間創出推進会議の開催(4月, 8月, 3月) ○パブリックコメントの実施(5月25日～6月25日) ○「東大路通整備構想」の策定(8月) ○交通調査の実施(12月) ウ予算額(うち国)千円 3,000(0) エ決算額(うち国)千円 16,610(0)	計画 イ進捗状況 ○「東大路通歩行空間創出推進会議」の開催(9月, 3月) ○交通調査の実施(11～12月) ウ予算額(うち国)千円 50,000 エ決算額(うち国)千円 30,500(0)	計画 イ進捗状況 ○「東大路通歩行空間創出推進会議」の開催(9月, 3月) ○交通調査の実施(11～12月) ウ予算額(うち国)千円 50,000 エ決算額(うち国)千円 30,500(0)
9	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	「歩くまち・京都」を支える歩行空間の充実	四条通の歩道拡幅と公共交通優先化	市内最大の繁華街である四条通を中心とする都心地域において、歩道拡幅による快適な歩行空間の確保とマイカーから公共交通への転換を図ります。	☐ 実施済み又は本格実施中 ☒ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画 イ進捗状況 ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(7月, 10月, 1月) ○四条通の都市計画決定に向けた法定説明会の開催(9月) ○四条通の都市計画案の概覧、意見書の募集(10月) ○四条通の都市計画決定(1月) ウ予算額(うち国)千円 16,000(4,562) エ決算額(うち国)千円 16,112(4,562)	計画 イ進捗状況 ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(7月, 10月, 1月) ○四条通の都市計画決定に向けた法定説明会の開催(9月) ○四条通の都市計画案の概覧、意見書の募集(10月) ○四条通の都市計画決定(1月) ウ予算額(うち国)千円 16,000(4,562) エ決算額(うち国)千円 16,112(4,562)	計画 イ進捗状況 ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(9月, 1月) ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(3月) ウ予算額(うち国)千円 66,700(16,632) エ決算額(うち国)千円 11,323(2,945)	計画 イ進捗状況 ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(9月, 1月) ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(3月) ウ予算額(うち国)千円 66,700(16,632) エ決算額(うち国)千円 11,323(2,945)
						計画 イ進捗状況 ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(7月, 10月, 1月) ○四条通の都市計画決定に向けた法定説明会の開催(9月) ○四条通の都市計画案の概覧、意見書の募集(10月) ○四条通の都市計画決定(1月) ウ予算額(うち国)千円 16,000(4,562) エ決算額(うち国)千円 16,112(4,562)	計画 イ進捗状況 ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(9月, 1月) ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(3月) ウ予算額(うち国)千円 66,700(16,632) エ決算額(うち国)千円 11,323(2,945)	計画 イ進捗状況 ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(9月, 1月) ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(3月) ウ予算額(うち国)千円 66,700(16,632) エ決算額(うち国)千円 11,323(2,945)	計画 イ進捗状況 ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(9月, 1月) ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(3月) ウ予算額(うち国)千円 66,700(16,632) エ決算額(うち国)千円 11,323(2,945)
10	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	未来の公共交通の充実	新しい公共交通システム(LRT、BRT)の導入検討	高い速達性と定時性、需要に合わせた輸送力を併せ持つLRT(次世代型路面電車)やBRT(バス高速輸送システム)などの新しい公共交通システムの実現に向け検討します。	☐ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☒ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画 イ進捗状況 ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(7月, 10月, 1月) ○四条通の都市計画決定に向けた法定説明会の開催(9月) ○四条通の都市計画案の概覧、意見書の募集(10月) ○四条通の都市計画決定(1月) ウ予算額(うち国)千円 16,000(4,562) エ決算額(うち国)千円 16,112(4,562)	計画 イ進捗状況 ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(9月, 1月) ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(3月) ウ予算額(うち国)千円 66,700(16,632) エ決算額(うち国)千円 11,323(2,945)	計画 イ進捗状況 ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(9月, 1月) ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(3月) ウ予算額(うち国)千円 66,700(16,632) エ決算額(うち国)千円 11,323(2,945)	計画 イ進捗状況 ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(9月, 1月) ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(3月) ウ予算額(うち国)千円 66,700(16,632) エ決算額(うち国)千円 11,323(2,945)
						計画 イ進捗状況 ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(7月, 10月, 1月) ○四条通の都市計画決定に向けた法定説明会の開催(9月) ○四条通の都市計画案の概覧、意見書の募集(10月) ○四条通の都市計画決定(1月) ウ予算額(うち国)千円 16,000(4,562) エ決算額(うち国)千円 16,112(4,562)	計画 イ進捗状況 ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(9月, 1月) ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(3月) ウ予算額(うち国)千円 66,700(16,632) エ決算額(うち国)千円 11,323(2,945)	計画 イ進捗状況 ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(9月, 1月) ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(3月) ウ予算額(うち国)千円 66,700(16,632) エ決算額(うち国)千円 11,323(2,945)	計画 イ進捗状況 ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(9月, 1月) ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(3月) ウ予算額(うち国)千円 66,700(16,632) エ決算額(うち国)千円 11,323(2,945)

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像 1 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
11	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	自動車交通の効率化と適正化	パークアンドライドの通年実施	郊外駅周辺の駐車場にクルマを止め、公共交通に乗り換えることにより、都心地域に流入する自動車を減らす。パークアンドライドを通年で実施します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○通年実施の充実 ○パークアンドライドの通年実施(4月) ○京うちらパークアンドライドの実施(12月) ○ハッピー・パークアンドライドの実施(12月) ○京都市圏パークアンドライド連絡協議会の開催(9月)	○パークアンドライドの通年実施(2駐車場を追加) ○ハッピーパークアンドライドの実施(12月) ○京都市圏パークアンドライド連絡協議会の開催(10月)		
						ウチ予算額(うち国)：千円 24,400(2,400)【「観光地等交通対策(「歩いてこそ京都」魅力満喫大作戦)」の一部を充当】 エシ予算額(うち国)：千円 24,171(2,399)		21,340(0)	22,000(0)【「観光地等交通対策(「歩いてこそ京都」魅力満喫大作戦)」の一部を充当】 21,800(0)【「観光地等交通対策(「歩いてこそ京都」魅力満喫大作戦)」の一部を充当】	
12	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	自動車交通の効率化と適正化	駐車場の通年実施の見直し	駐車需要に合わせた駐車施設の適正な配置を図るとともに、歩くことを中心としたまちと暮らしの実現に寄与するよう自動車の流入の抑制を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○駐車場条例の改正	○検討		
						イ進捗状況 ウチ予算額(うち国)：千円 エシ予算額(うち国)：千円	○平成23年5月1日から施行	○既存駐車施設の有効活用に関する検討	京都市駐車場条例の改正(平成26年10月1日施行予定)	2,300(0)
13	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	自動車交通の効率化と適正化	タクシー交通の位置付けの明確化と効果的な活用の検討	タクシー・駐停車マナーの向上や大量の空車タクシー走行による環境負荷低減に向けた具体策を検討します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○タクシー・駐停車マナー向上の取組	○見直し・充実		
						イ進捗状況 ウチ予算額(うち国)：千円 エシ予算額(うち国)：千円	○終着者向けセミナーの実施(10月、12月) ○駐停車マナー向上に向けたアンケートの実施(3月) 16,000(4,562)【内、繰越分7,000】(「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進の一部を充当) 16,112(4,562)【内、繰越分7,000】(「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進の一部を充当)	○タクシー・駐停車マナー向上に向けたアンケート及び利用者啓発の実施(1月～2月) 39,700(1,782)【内、繰越分7,000】(「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進の一部を充当) 11,323(2,945)【内、繰越分0】(「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進の一部を充当)	○京都市タクシー・駐停車マナー向上マネジメント会議の開催(9月) 37,820(15,235)【内、繰越額24,620】(「歩いて楽しいまちなか戦略」の一部を充当) 63,068(「歩いて楽しいまちなか戦略」の一部を充当)	
14	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	自動車交通の効率化と適正化	ロードプライシングの検討	特定の道路利用に対して直接的に課金し、交通需要を管理する方法であるロードプライシングの導入可能性について検討します。	□実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 ■企画構想段階 □着手前	計画	○検討	○検討		
						イ進捗状況 ウチ予算額(うち国)：千円 エシ予算額(うち国)：千円	○未来の公共交通推進会議の開催(3月) 6,000(0)【「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進の一部を充当】	○未来の公共交通推進会議の開催(3月) 10,000(0)【「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進の一部を充当】	○ロードプライシングをはじめとした自動車の流入抑制策について検討	5,000(0) 5,000(0)
15	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	自動車交通の効率化と適正化	交通条件の公平化の検討	商業施設などにおいて、公共交通利用者へのサービス提供を進めるための制度の創設について検討します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○検討	○実施		
						イ進捗状況 ウチ予算額(うち国)：千円 エシ予算額(うち国)：千円	○高島屋京都支店での100円循環バス乗車券の配布 ○商業施設等において実施される公共交通利用促進策に対し、付置乗降台数引き下げ規定を創設。(現在、4施設から適用について相談を受けている。) ○自家用車から公共交通機関への利用転換を促進するため、公共交通利用促進策の充実に向け検討。	○公共交通利用促進策による付置乗降引き下げ規定の拡大(平成24年5月1日から施行) ○取組の推進		0 0

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像1 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
19	3.「ライフスタイル」の取組(歩いて楽しい暮らしを大切にしているライフスタイルへの転換)	「スローライフ京都」大作戦(プロジェクト)	広報媒体などを活用したモビリティ・マネジメント	クルマ利用者に対して、ウェブサイトや広報媒体などを活用した啓発やアンケートなどのコミュニケーション手段を通じて、自発的な交通行動の変化を促します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施 ○市民しんぶん区版(8月15日号)での取り組み活用 ○市民しんぶん全市版(12月1日号)への掲載 ○KBS京都ラジオを活用した情報発信(「笑福亭昇瓶のほっかほっかラジオ」番組内に「歩くまち、京都タイム」コーナーを設置(9月5日～12月2日、月曜～金曜)) ○観光ガイドブック(るるる京都、まっぶる京都)への掲載	○見直し・充実 ○市民しんぶん全市版(12月1日号)への情報掲載 ○KBS京都ラジオを活用した情報発信(10月4日～3月29日、木・金曜) ○ABC京都ラジオを活用した情報発信(10月6日～2月16日、土曜) ○αステーションを活用した情報発信(スポーツ告知、ペイドバカリティ告知) ○観光ガイドブック(るるる京都、まっぶる京都)への掲載	○市民しんぶん全市版(12月1日号)への情報掲載 ○KBS京都ラジオを活用した情報発信(10月3日～3月28日、木・金曜) ○ABC京都ラジオを活用した情報発信(10月5日～2月22日、土曜) ○観光ガイドブック(歩くまち京都公式ガイド)への掲載	
						ウチ算額(3ヵ国)：千円 企業算額(5ヵ国)：千円 35,789(21,360)	35,789(21,360)	52,257(39,085)	27,100(13,805)〔「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充(当)〕 26,331(13,350)〔「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充(当)〕	
						計画	○実施 ○自動車運転免許更新MM(4月～) ○学校MM(検討会 3回：6月、7月、9月) ○高齢者への運転免許返納を促すMM ○地域住民や大学、企業等と連携した参加型MMに係る事業公募(9月3日～21日) ○転入者MMの実施に向けた検討	○自動車運転免許更新MM(4月～) ○学校MM(検討会 4回：7月、8月、11月、2月) ○高齢者への運転免許返納を促すMM ○転入者MMの実施	27,100(13,805)〔「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充(当)〕 26,331(13,350)〔「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充(当)〕	
20	3.「ライフスタイル」の取組(歩いて楽しい暮らしを大切にしているライフスタイルへの転換)	「スローライフ京都」大作戦(プロジェクト)	「市民」の交通行動スタイルの見直しを促す施策	市民を対象に、「家庭」「学校」「職場」などあらゆる機会を通じて、公共交通情報マップの配布やアンケート、環境学習の一層の推進、エコ通勤の推進などを実施し、交通行動スタイルの見直しを促します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施 ○「スローライフ京都」大作戦(プロジェクト)アンケートの実施(対象数：20,135人) ○地域住民や大学、企業等と連携した参加型モビリティ・マネジメントの実施(3事業) ○転入者MMの実施に向けた検討	○見直し・充実 ○自動車運転免許更新MM(4月～) ○学校MM(検討会 3回：6月、7月、9月) ○高齢者への運転免許返納を促すMM ○地域住民や大学、企業等と連携した参加型MMに係る事業公募(9月3日～21日) ○転入者MMの実施に向けた検討	○自動車運転免許更新MM(4月～) ○学校MM(検討会 4回：7月、8月、11月、2月) ○高齢者への運転免許返納を促すMM ○転入者MMの実施	27,100(13,805)〔「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充(当)〕 26,331(13,350)〔「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充(当)〕
						ウチ算額(3ヵ国)：千円 企業算額(5ヵ国)：千円 35,789(21,360)	35,789(21,360)	52,257(39,085)	27,100(13,805)〔「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充(当)〕 26,331(13,350)〔「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充(当)〕	
						計画	○実施 ○「公共交通機関でおこしやすキャンペーン」の実施(10月～11月、3月～5月) ○「公共交通でまわる京都観光マップ」の改良 ○「市営駐車場におけるモビリティ・マネジメント」の継続実施	○「公共交通機関でおこしやすキャンペーン」の実施(10月～11月、3月～5月) ○「公共交通でまわる京都観光マップ」の改良 ○「市営駐車場におけるモビリティ・マネジメント」の継続実施	○「公共交通機関でおこしやすキャンペーン」の実施(10月～11月、3月～5月) ○「公共交通でまわる京都観光マップ」の改良 ○「市営駐車場におけるモビリティ・マネジメント」の継続実施	1,800(0) 1,800(0) 1,800(0)
21	3.「ライフスタイル」の取組(歩いて楽しい暮らしを大切にしているライフスタイルへの転換)	「スローライフ京都」大作戦(プロジェクト)	「観光客」の交通行動スタイルの見直しを促す施策	京都市への観光客を対象に、クルマを使わない観光の優位性を伝えることにより、公共交通を利用した観光を呼び掛けます。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施 ○「公共交通機関でおこしやすキャンペーン」の実施(10月～11月、3月～5月) ○「公共交通でまわる京都観光マップ」の改良 ○「市営駐車場におけるモビリティ・マネジメント」の継続実施	○見直し・充実 ○「公共交通機関でおこしやすキャンペーン」の実施(10月～11月、3月～5月) ○「公共交通でまわる京都観光マップ」の改良 ○「市営駐車場におけるモビリティ・マネジメント」の継続実施	○「公共交通機関でおこしやすキャンペーン」の実施(10月～11月、3月～5月) ○「公共交通でまわる京都観光マップ」の改良 ○「市営駐車場におけるモビリティ・マネジメント」の継続実施	27,100(13,805)〔「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充(当)〕 26,331(13,350)〔「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充(当)〕
						ウチ算額(3ヵ国)：千円 企業算額(5ヵ国)：千円 35,789(21,360)	35,789(21,360)	52,257(39,085)	27,100(13,805)〔「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充(当)〕 26,331(13,350)〔「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充(当)〕	
						計画	○実施 ○「公共交通機関でおこしやすキャンペーン」の実施(10月～11月、3月～5月) ○「公共交通でまわる京都観光マップ」の改良 ○「市営駐車場におけるモビリティ・マネジメント」の継続実施	○「公共交通機関でおこしやすキャンペーン」の実施(10月～11月、3月～5月) ○「公共交通でまわる京都観光マップ」の改良 ○「市営駐車場におけるモビリティ・マネジメント」の継続実施	○「公共交通機関でおこしやすキャンペーン」の実施(10月～11月、3月～5月) ○「公共交通でまわる京都観光マップ」の改良 ○「市営駐車場におけるモビリティ・マネジメント」の継続実施	1,800(0) 1,800(0) 1,800(0)

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像 1 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
22	4. エコカーへの転換	インフラ整備の推進	共同住宅、民間駐車場、商業施設などへの充電設備・水素ステーションの設置に対するインセンティブの付与の検討	民間事業者などによる充電設備や水素ステーションの設置に対してインセンティブを与える制度の創設や、新築建築物への充電設備の導入を進める仕組みを検討し、エコカーの普及に向けたインフラ整備を推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	○対応策の実施 ○充電設備等の設置を促進するため、補助制度の創設も含めた有効な推進策の検討	○充電設備設置補助制度の創設
						0 0	0 0	2,000(0) 2,000(0)	2,000(0) 2,000(0)
23	4. エコカーへの転換	事業者・販売店を通じた転換促進	特定事業者への導入義務化	条例に基づく特定事業者に対して、事業用の自動車を購入(リースを含む)する際に、一定割合以上をエコカーとすることを義務付けます。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	○実施 ○義務制度の開始 計画期間中(H23～25年度)に取得する新車の総台数に対するエコカーの割合を50%以上とすることを義務付け、エコカーの普及の促進	○平成24年度に取得した新車の台数及びエコカーの内訳を示す新車購入等報告書の受理 (特定事業者が導入した新車のうち約78%がエコカー)
						7,500(0) 5,803(0)	7,700(0) 7,404(0)	7,300(0) 事業者排出量削減計画書制度	7,000(0) 事業者排出量削減計画書制度
24	4. エコカーへの転換	事業者・販売店を通じた転換促進	自動車販売店に対するエコカー販売継続報告の義務化	自動車販売事業者に対して、エコカーの販売実績を報告することを義務付けます。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	○実施 ○制度開始 顧客への新車販売時に自動車環境情報・顧客への新車販売実績報告書の受理・報告の説明、エコカー販売促進及び、新車販売実績報告書の提出	○平成24年度のエコカー販売実績を記載した新車販売実績報告書の受理 (新車販売台数は約5万2千台、うちエコカーの販売台数は約3万9千台)
						0 0	0 0	0 0	0 0
25	4. エコカーへの転換	事業者・販売店を通じた転換促進	電動バス・ハイブリッドバスなどの導入促進	次世代EV(電動)バスの実証実験などを実施したEVバスの実用化を進めるとともに、環境にやさしいハイブリッドバスなどの低公害車の導入を推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	○検討(EVバスの実証実験) (EVバスの実証実験) ○途中充電のための停車に伴う乗客の意識調査と途中充電を踏まえた電動バスの走行距離の検証を行うための、EVバス運行に関する実証実験を実施。	○導入(EVバスの実用化の検証) ○実証実験を踏まえ、メーカーによるEVバス実用化に向けた開発技術等の検討。
						0 0	0 0	0 0	0 0
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	○ハイブリッドバス10両導入 ○アイドリングストップバス27両導入	○ハイブリッドバス10両導入 ○アイドリングストップバス27両導入
						230,967(28,395) 227,991(19,978)	973,533(123,169) 937,302(126,333)	1,126,031(98,069) 868,861(44,391)	1,197,072(99,400)

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像2 森を再生し「木の文化」を大切にするまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)																																																																																																																																										
26	1. 地域産木材の活用	建築物の地域産木材利用	特定建築物への地域産木材の利用義務化	条例に基づく特定建築物(延床面積2,000㎡以上の新増築建築物)の建築主に対し、地域産木材の利用を義務付けます。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○義務化の詳細について、建築関連団体と意見交換 ○京都市地球温暖化対策条例規則改正(3月) ・木材利用の基準について策定	○実施	○特定建築物の建築主に対する地域産木材の利用義務に係る届出の受付(4月～)																																																																																																																																											
						ウチ予算額(3万円)・千円 エ決算額(3万円)・千円	0 0	0 0	0 0																																																																																																																																											
						計画	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○市営住宅建設の基本計画策定及び実施設計において、地域産材活用を推進	○市営住宅建設において、地域産材活用を推進	○市営住宅建設において、地域産材活用を推進	設計・工事費:305,932(135,442)の一部 工事費:979,594(520,423)の一部																																																																																																																																									
27	1. 地域産木材の活用	建築物の地域産木材利用	公共施設への地域産木材の優先利用	京都市が整備する公共建築物などの公共施設において、地域産木材を積極的に利用します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況	ウチ予算額(3万円)・千円 エ決算額(3万円)・千円	計画	○市営住宅建設の基本計画の策定において、地域産材活用を推進	○市営住宅建設の基本計画策定及び実施設計において、地域産材活用を推進	○市営住宅建設において、地域産材活用を推進	○市営住宅建設において、地域産材活用を推進	設計・工事費:154,669(69,047)の一部 34,581(15,563)の一部 ※翌年度繰越:114,648(48,393)																																																																																																																																							
						ウチ予算額(3万円)・千円 エ決算額(3万円)・千円	6,909(3,110)の一部 ※翌年度繰越:9,900(6,600)	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○公共施設7施設に約136m ³ 利用	○公共施設1施設に約0.2m ³ 利用	○京都市公共建築物における木材利用基本方針策定	0																																																																																																																																								
						計画	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減	○京都市公共建築物低炭素化推進計画に基づく建設費削減 など ○関係共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく建設費削減

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像2 森を再生し「木の文化」を大切にするまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
30	1. 地域産木材の活用	建築物の地域産木材利用	「平成の京町家」の普及促進	伝統的な京町家の知恵と現代的な環境技術が融合した京都型環境配慮住宅である「平成の京町家」の普及を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○平成の京町家普及促進事業	○本格実施		
						イ進捗状況	○平成の京町家認定制度の実施 ○平成の京町家コンソーシアムと連携した普及啓発事業の実施 ○平成の京町家モデル住宅展示場「K YOMOI」の開設(11月) ○設計ガイドライン作成事業の実施(設計事例集・認定基準の解説書作成)	○平成の京町家認定制度の実施 ○平成の京町家コンソーシアムと連携した普及啓発事業の実施 ○平成の京町家モデル住宅展示場「K YOMOI」の開設(11月) ○平成の京町家普及センターの開設(3月)	○平成の京町家認定制度の実施 ○平成の京町家コンソーシアムと連携した普及啓発事業の実施 ○平成の京町家モデル住宅展示場「K YOMOI」の運営 ○平成の京町家普及センターの運営	
						ウ予算額(3万円)・千円 エ決算額(3万円)・千円	18,000(4,500) 7,438(90)	37,300(6,750) 22,197(225)	24,825(4,500)	22,410(7,200)
31	1. 地域産木材の活用	間伐材や木質ペレットなど木材の利用	木質ペレットストーブ・ボイラー・吸収式冷水温水器の普及推進	木質ペレットを燃料とするストーブ、ボイラー、吸収式冷水温水器を普及推進するため、導入支援策を実施します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○木質ペレットストーブ等普及促進事業			
						イ進捗状況	○木質ペレットストーブ等普及促進事業実施(6月～) ○木質ペレットストーブ43台、木質ペレットボイラー2台	○木質ペレット需要拡大事業実施(5月～) ○木質ペレットストーブ45台、木質ペレットボイラー3台	○木質ペレット需要拡大事業実施(5月～) ○木質ペレットストーブ58台、木質ペレットボイラー4台	
						ウ予算額(3万円)・千円 エ決算額(3万円)・千円	19,000(19,000) 21,517(6,784)	35,000(0) 32,388(0)	35,000(0)	30,000(0)
32	1. 地域産木材の活用	間伐材や木質ペレットなど木材の利用	木質ペレットなどの公共建築物への率先利用	京都市及び関係機関において、木質ペレット及び地域産木材を使った物品を積極的に利用します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○京都市公共建築物低炭素仕様に基づく施設整備 など			
						イ進捗状況	○「地域産材ストック情報システム検討委員会」開催(3回)(No.34 再掲) ○京都市木材利用基本方針策定準備	○地域産材ストック情報システムの運用 ○京都市木材利用基本方針策定委員会による検討(25年2月～)	○地域産材ストック情報システムの運用 ○京都市公共建築物における木材利用基本方針策定	
						ウ予算額(3万円)・千円 エ決算額(3万円)・千円	1,276(0) 1,132(0)	0 0	0 0	0 0
33	1. 地域産木材の活用	間伐材や木質ペレットなど木材の利用	間伐材の供給に対する助成即成	木質ペレット原料用の間伐材の供給に対する助成制度を創設し、間伐材の需要拡大と森林の適切な整備を推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施			
						イ進捗状況	○木質資源利用促進事業：ペレットの原料となる間伐材の搬入実施(7月～)	○木質資源利用促進事業：ペレットの原料となる間伐材の搬入実施(4月～)	○木質資源利用促進事業：ペレットの原料となる間伐材の搬入実施(4月～)	
						ウ予算額(3万円)・千円 エ決算額(3万円)・千円	5,000(0) 2,000(0)	5,000(0) 2,200(0)	5,000(0)	4,200(0)

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像2 森を再生し「木の文化」を大切にするまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
34	1. 地域産木材の活用	木材利用者への情報提供	地域産木材ストック情報システムの整備	京都市地域産木材の利用促進を図るために、木材業界と連携し、工務店が必要とする木材について、供給状況と分かるストック情報システムを構築します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況	○検討 ○地域産材蓄及供給体制整備事業 ○「木の文化を具現化する推進委員会」開催(2回) ○「地域産材ストック情報システム検討委員会」開催(3回)	○「木の文化を具現化する推進委員会」開催(2回) ○地域産材ストック情報システムの運用(Na.32再掲) ○京都市公共建築物における木材利用基本方針策定(Na.32再掲)		
						ウチ算額(うち国)：千円 2,000(0) 市算額(市)：千円 1,702(0)	2,600(0) 2,362(0)	2,000(0)	1,600(0)	
35	1. 地域産木材の活用	木材利用者への情報提供	ウッドマイレージなどの評価	木材の産地から消費地までの輸送距離から算出される排出量(ウッドマイレージ)を評価します。さらに木質ペレットを含め、木材の生産から流通消費までを市民に見える形で評価し、情報発信する方法を検討します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況	○検討 ○京都市地域産材「みやこ杣木」の認証マークを明示して利用を推奨する「京都市木材地産表示制度」により、木の地産地消を推進	○CASBEE京都の評価においてウッドマイレージCO ₂ に関する評価を実施(平成23年4月～) ○「京都市木材地産表示制度」により、木の地産地消を推進		
						ウチ算額(うち国)：千円 市算額(市)：千円				
36	2. 森林の適切な保全	森林整備	健全で多様な森林の育成	森林整備事業などによる健全な森林づくり、とりわけ間伐の必要な森林や放置された森林の整備の推進と森林認証制度の普及に努めるとともに、長伐期林、複層林、広葉樹林など多様な森林の整備を進めます。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況	○森林整備事業の推進 ○森の力活性・利用対策～地球温暖化防止森林吸収源対策～：間伐及び作業路整備を実施(4月～) ○森林バイオマス活用推進事業：間伐及び作業路整備を実施(4月～)	○森の力活性・利用対策～地球温暖化防止森林吸収源対策～：間伐及び作業路整備を実施(4月～)		
						ウチ算額(うち国)：千円 80,900(0) 市算額(市)：千円 59,893(0)	61,800(0) 56,351(0)	56,600(0)	62,200(0)	
37	2. 森林の適切な保全	森林整備	三山森林景观保全・再生ガイドラインの推進	三山の森林景观を保全・再生するためのガイドラインに基づき、市民や事業者との協働による森林景观づくりを推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況	○ガイドラインに基づく森林景观づくりの推進 ○「京都市三山森林景观保全・再生ガイドライン」の策定(5月) ○シンポジウム「三山におけるこれからの森林景观づくり」の開催(11月)	○小倉山の森づくりを考える勉強会の開催(5月) ○小倉山森林再生事業に係る関係者会議の開催(9月) ○京都市森づくりアドバイザー制度を創設(11月) ○第2回シンポジウム「三山におけるこれからの森林景观づくり」開催(12月) ○小倉山の森林再生に向けた意見交換会」の開催(11月・2月・3月)		
						ウチ算額(うち国)：千円 1,000(0) 市算額(市)：千円 695(0)	11,000(5,000) 9,028(4,236)	11,000(5,000)	19,514(9,257)	
38	2. 森林の適切な保全	森林整備	森林整備の担い手となる人材の育成・確保	林業労働者の社会保障制度や技術研修制度の充実、森組合などにおける森林整備班の養成を行うことにより、林業の担い手を確保し、森林整備に必要な体制の整備を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況	○林業担い手対策事業 ○林業労働者共済事業(林業労働者の退職金等制度への加入助成)の実施 ○緑の担い手育成事業(林業労働者の社会保障制度への加入助成)の実施	○林業労働者共済事業(林業労働者の退職金等制度への加入助成)の実施 ○緑の担い手育成事業(林業労働者の社会保障制度への加入助成)の実施		
						ウチ算額(うち国)：千円 12,656(0) 市算額(市)：千円 10,616(0)	13,085(0) 12,196(0)	13,104(0)	13,466(0)	

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像2 森を再生し「木の文化」を大切にするまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
39	2. 森林の適切な保全	林業の振興	施業集約化の推進	地域産材を安定供給できる体制づくりを目指して、伐採、造林、保育を一体的、計画的、効率的に行う施業の集約化を推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	○地域産材を安定して供給できる体制の構築 ○森林総合整備事業：植林、保育及び作業路整備の実施(4月～)	○森林総合整備事業：植林、保育及び作業路整備の実施(4月～)	○森林総合整備事業：植林、保育及び作業路整備の実施(4月～)	○森林総合整備事業：植林、保育及び作業路整備の実施(4月～)
40	2. 森林の適切な保全	林業の振興	林業経営の効率化と低コストへの推進	林業の生産性を高め、経営の効率化を図るため、密度の高い林内路網の整備と、地形・立地に適した高性能林業機械の導入を進めます。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	○密度の高い林内路網の整備、高性能林業機械の導入 ○森林総合整備事業：植林、保育及び作業路整備の実施(4月～) ○高性能林業機械1台導入	○森林総合整備事業：植林、保育及び作業路整備の実施(4月～) ○高性能林業機械2台導入 ○高性能林業機械1台導入	○森林総合整備事業：植林、保育及び作業路整備の実施(4月～) ○高性能林業機械1台導入	○森林総合整備事業：植林、保育及び作業路整備の実施(4月～) ○高性能林業機械1台導入
41	2. 森林の適切な保全	森づくりへの市民参加	森づくりサポートの充実	市街地周辺三山などの里山や京北合併記念の森を中心に、市民などの参画による森林の保全・整備などの活動を展開します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	○京都市伝統文化の森推進協議会の活動：市民参画イベント実施(10月、12月、3月) ○合併記念の森管理運営協議会の活動：市民参加のイベント実施(11月、3月)	○京都市伝統文化の森推進協議会の活動：市民参画イベント実施(10月、12月、3月) ○合併記念の森管理運営協議会の活動：市民参加のイベント実施(11月、3月)	○京都市伝統文化の森推進協議会の活動：市民参画イベント実施(4月、10月、12月、3月) ○合併記念の森管理運営協議会の活動：市民参加のイベント実施(9月、12月)	○京都市伝統文化の森推進協議会の活動：市民参画イベント実施(4月、10月、12月、3月) ○合併記念の森管理運営協議会の活動：市民参加のイベント実施(9月、12月)
42	2. 森林の適切な保全	森づくりへの市民参加	里山など森林を活用した環境学習事業の展開	市民・事業者・大学参画による生態系保全型の森づくりシステムを構築し、豊かな農林資源を活用した環境学習などに活用する森林整備を行い、そのシステムを民有林全体に推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	○生態系保全型の森づくりシステムの構築 ○森林の現状等に係る市民への普及啓発：森林ウォークの実施(7月、12月)	○森林の現状等に係る市民への普及啓発：森林ウォークの実施(7月、12月)	○森林の現状等に係る市民への普及啓発：森林ウォークの実施(9月、12月)	○森林の現状等に係る市民への普及啓発：森林ウォークの実施(9月、12月)
43	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	市街地の緑化	特定緑化建築物への緑化義務化	条例に基づき特定緑化建築物(敷地面積1,000㎡以上の新築・改築建築物)について、建築物及び敷地の緑化を義務付けることにより、市街地の緑化を推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	○義務化の詳細について、建築関連団体と意見交換 ○京都市地球温暖化対策条例規則改正(3月) ・緑化基準の策定	○特定緑化建築物の建築主に対し、建築物及び敷地の緑化を義務化・届出の受付開始(4月～)	○特定緑化建築物の建築主に対する建築物及び敷地の緑化義務に係る届出の受付	○特定緑化建築物の建築主に対する建築物及び敷地の緑化義務に係る届出の受付

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像2 森を再生し「木の文化」を大切にするまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
44	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	市街地の緑化	公共施設の緑化の推進	京都市が整備する公共建築物などの公共施設において、緑化を積極的に推進します。	☒ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円
45	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	市街地の緑化	屋上緑化・壁面緑化に対する助成の充実	住宅や事業所などの民有地における緑化に対して助成することにより、民有地緑化の推進を図ります。	☒ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円
46	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	市街地の緑化	市民などとの協働による民有地緑化の推進	緑が少なく、緑化余地も少ない中心市街地において、緑化を義務化することにより、民有地緑化の推進を図ります。	☐ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☒ 着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円
47	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	ヒートアイランド対策	市民農園の整備などによる農地の有効活用	地域主導の市民農園モデルとなる総合体験型市民農園を整備し、市民が参加できる環境にやさしい都市型農業を振興します。	☒ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円

京のまちなか緑化制度(累計108件)事業などにより民有地緑化の推進。

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	
48	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	ヒートアイランド対策	水と緑のネットワークづくり	市街地周辺の山々や農地の緑、中心市街地における街路樹などの緑と、市内を貫流する河川の軸を骨格とした水と緑のネットワークを形成します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施	○「道路の森づくり」 御池通(天神川～西大路通)：ケヤキ49本、サルスベリ4本(1.4 km)植栽	○「道路の森づくり」 久世橋通(国道171号～国道24号)ケヤキ等164本植栽、葛野大路通(御池通～四条通)ケヤキ等51本植栽、御池通(西大路通～御前通)サルスベリ21本植栽 ○「烏丸通、緑の道路環境整備事業(道路の森づくり)」 ○「烏丸通、緑の道路環境整備事業(道路の森づくり)」 烏丸通(御池通～五条通)ケヤキ等72本植栽	216,000(22,280)
						ウチ算額(うち国)：千円 市算額(うち国)：千円	16,000(0) 14,210(0)	34,000(0) 21,580(0)	232,200(0)	
50	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	ヒートアイランド対策	水を活用した取組の推進	水の気化熱を利用して周辺の気温を下げる「打ち水」の実施拡大や、「ミスト装置」の普及促進に取り組み、ヒートアイランド現象の緩和につなげます。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施	○京都駅にて「DO YOU KYOTO?」プロジェクト『打ち水』(7月)	○8月1日の「水の日」に合わせて市民しんぶんで啓発(8月) ○啓発実施	
						ウチ算額(うち国)：千円 市算額(うち国)：千円	7,000(0) 6,054(0)	7,000(0) 7,000(0)	7,000(0) 7,000(0)	

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像3 エネルギー創出・地域循環のまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	
51	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	事業活動における活用	「DO YOU KYOTO?クレジット(仮称)」制度の創設	国内クレジット制度やオフセット・クレジット制度などの国の制度の活用に加え、地域コミュニティや中小事業者が取り組むやすい京都独自のクレジット制度を創設し、温室効果ガス削減量という環境価値を見える化し、経済的に評価することにより、地域で循環・流通させる仕組みを構築します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施 ○「DO YOU KYOTO?クレジット」制度の創設(8月) ○省エネに取り組む中小事業者・コミュニティの募集開始とプロジェクト登録を実施(8月～3月) ○クレジット認証を実施し、クレジット創出奨励金を交付(2月～3月)	○省エネに取り組む中小事業者・コミュニティの募集とプロジェクト登録を継続実施(4月～) ○クレジット認証を実施、クレジット創出奨励金を交付(2月～3月) ○DO YOU KYOTO?クレジット創出・活用促進協議会において、引き続き、クレジットの創出・活用促進の取組について検討・実施			
						ウチ算額(3ヵ月)・千円 地球算額(3ヵ月)・千円	14,200(0) 4,688(0)	19,525(0) 3,530(0)	17,710(0)	600(0)	
52	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	事業活動における活用	特定建築物への再生可能エネルギーの導入義務化	条例に基づき、特定建築物の建築主に対し、太陽光発電設備などの再生可能エネルギー利用設備の設置を義務化します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施 ○義務化の詳細について、建築関連団体と意見交換 ○京都市地球温暖化対策条例規則改正(3月)	○特定建築物の建築主に対し、再生可能エネルギー利用設備の設置を義務化(4月～) ○平成24年度の再生可能エネルギー利用量 約578万MJ)	○特定建築物の建築主に対する再生可能エネルギー利用設備の設置義務に係る届出の受付 (平成25年度の再生可能エネルギー利用量 約511万MJ)		0
						ウチ算額(3ヵ月)・千円 地球算額(3ヵ月)・千円	0 0	0 0	0	0	
53	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	事業活動における活用	事業者排出量削減計画書制度における評価	条例に基づき、特定事業者に義務付けられている、温室効果ガス排出削減のための計画・報告書を市に提出する制度において、再生可能エネルギーの利用を評価します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施 ○事業者排出量削減計画書制度の開始 (H23～H25年度)をH23.9月末までに提出を求め、計画期間中(H23～25年度)に取り組まれる再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給について、温室効果ガス排出量から差し引いて評価を実施。	○平成23年度の温室効果ガス排出実績を示す事業者排出量削減報告書の受理	○平成24年度の温室効果ガス排出実績を示す事業者排出量削減報告書の受理		
						ウチ算額(3ヵ月)・千円 地球算額(3ヵ月)・千円	7,500(0) 5,803(0)	7,700(0) 7,404(0)	7,300(0)	事業者排出量削減計画書制度	
54	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	市民生活における活用	太陽光発電設備及び太陽光発電設備の導入に対する補助などの実施	太陽光発電設備などを設置する市民に対し、補助や融資を行います。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○補助(太陽光発電設備) ○助成の実施 ・申請件数: 単年度1,571件 ・設置件数: (累計3,877件) ・設置件出力: 単年度6,202kW (累計14,026kW)	○助成の実施 ・申請件数: 単年度1,780件 ・太陽光: 単年度1,780件 (累計5,657件) ・蓄電池: 単年度48件 ・太陽熱: 単年度12件 ・設置出力: 単年度7,269kW (累計21,297kW)	○助成の実施 ・申請件数: 単年度1,580件 ・太陽光: 単年度1,580件(累計7,237件) ・蓄電池: 単年度81件 (累計129件) ・太陽熱: 単年度15件 (累計27件) ・設置出力: 単年度6,325.5kW (累計27,623kW)		
						ウチ算額(3ヵ月)・千円 地球算額(3ヵ月)・千円	当初21,100(0), 9月補正100,000(0) 284,505(0)	195,900(0) 160,232(0)	201,100(0) 148,933(0)	278,600(0)	

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像3 エネルギー創出・地域循環のまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
55	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	市民生活における活用	市民協働発電制度の実施	市民など協働で太陽光発電設備を設置する仕組みを構築します。	☒ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画	○検討	○京都市市民協働発電制度検討委員会の開催、検討報告書の受領 ○運営主体の決定 ○運営主体が出資者の募集を実施 ○第1号(公共施設3箇所)の稼働	○市民協働発電制度運営主体の決定(第1期(9月):5施設(うち、1施設は後に辞退)、第2期(12月):2施設) ○出資者の募集(2～3月) ○発電所の稼働(3月):4施設 ○太陽光発電屋根貸し制度運営主体の決定(第1期(12月):20施設、第2期(2～3月):2施設) ○発電所の稼働(3月):3施設	
						イ進捗状況	○京のアジェンダ21フォーラムにおいて課題を検討			
56	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	市民生活における活用	新築住宅への再生可能エネルギーの導入義務化の検討	新築住宅に対して、再生可能エネルギーの導入を義務付けることを検討します。	☐ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☒ 着手前	計画	○検討	○国のエネルギー政策の動向を踏まえつつ、新築住宅への再生可能エネルギーの導入促進について検討	○国のエネルギー政策の動向を踏まえつつ、新築住宅への再生可能エネルギーの導入促進について検討	義務付けについては、平成26年度の条例見直しにおいて検討予定。
						イ進捗状況	○京都市公共建築物低炭素仕様に基づく施設整備 ○市営住宅建設の基本計画策定において、再生可能エネルギーの導入を推進	○市営住宅建設の基本計画策定及び実施設計において、再生可能エネルギー導入を推進 設計費・工事費:154,669(69,047)の一部	○市営住宅建設において、再生可能エネルギー導入を推進 設計・工事費:305,932(135,442)の一部	工事費:979,594(520,423)の一部
57	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	公共部門における活用	公共建築物への再生可能エネルギー(太陽光、太陽熱、木質バイオマスなど)の率先導入	京都市が整備する公共建築物において、再生可能エネルギー(太陽光、太陽熱、木質バイオマスなど)を積極的に導入します。	☒ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画	○京都市公共建築物低炭素仕様に基づく施設整備	○公共施設3施設に太陽光発電約95kW導入(市民協働発電) ○水垂埋立処分場ヘメガソーラー発電所(2,100kW×2基)を誘致	○市民協働発電制度(5施設約218kW)、屋根貸し制度(3件約60kW)などを中心に公共施設18施設への太陽光発電約387kW導入	
						イ進捗状況	○京都市公共建築物低炭素仕様に基づく施設整備	○公共施設3施設に太陽光発電約95kW導入(市民協働発電) ○水垂埋立処分場ヘメガソーラー発電所(2,100kW×2基)を誘致		

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像3 エネルギー創出・地域循環のまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
58	1. 再生 可能エネ ルギーの 導入拡大	公共部門 における 活用	小水力発電 の導入の推 進	未利用エネルギーの中でも、 活用が期待される小水力発 電について、導入可能性調 査を行うとともに、新たな地 域エネルギーとしての有効利 用を図ります。	■実施済み又は本 格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 ○検討 ○調査委託業者の選定に向けた事業 内容検討(4月～) ○プロポーザルによる委託業務受託業 者選定・委託契約締結(9月) ○現地調査・現地調査・詳細地点調 査・事業可能性検討・報告書作成(～3 月)	イ進捗状況 ウチ算額(万円)・千円 3,000(0) 2,993(0)	○琵琶湖疏水副ダム放水路で実証実 験を実施(3月) ○琵琶湖疏水副ダム放水路の伏見工 業高校生徒製作による「せん水車」を 設置(3月) ※予算は「62. スマートシティ」に計上 0	0
						計画 ○検討	○小水力発電の詳細設計に向けた内 容の検討。 ウチ算額(万円)・千円 0 0	○小水力発電の詳細設計の実施(栗尾 トンネル) 工期25.11.1～26.7.31 契約金14,310千円(税込) 0 0(0)	※予算は「62. スマートシティ」に計上 0 17,200
						計画 ○実施	○平成23年度以前から実施 ○平成23年度バイオディーゼル精製 量:130万リットル ウチ算額(万円)・千円 154,534千円 13,077千円 135,604千円 13,143千円	○バイオディーゼル精製量:125万リット ル (歳出)150,223千円 (歳入)12,174千円 (歳出)133,401千円 (歳入)13,406千円	○バイオディーゼル精製量:127万リット ル (歳出)147,824千円 (歳入)13,449千円 (歳出)136,240千円 (歳入)3,497千円
59	1. 再生 可能エネ ルギーの 導入拡大	公共部門 における 活用	使用済でん ぶら油から精 製したバイオ ディーゼル燃 料の利用拡大	使用済でんぶら油をバイオ ディーゼル燃料として精製 し、京都市のごみ収集車や 市バスの燃料として活用しま す。	■実施済み又は本 格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウチ算額(万円)・千円 1,440(0) 1,421(0)	○ごみ収集車:138台の燃料として活用 ○ごみ収集車:137台の燃料として活用 ○ごみ収集車:136台の燃料として活用 ウチ算額(万円)・千円 13,754(0) 13,307(0)	○ごみ収集車:138台の燃料として活用 ○ごみ収集車:137台の燃料として活用 ○ごみ収集車:136台の燃料として活用 ウチ算額(万円)・千円 13,754(0) 12,557(0)	○ごみ収集車:138台の燃料として活用 ○ごみ収集車:137台の燃料として活用 ○ごみ収集車:136台の燃料として活用 ウチ算額(万円)・千円 13,754(0) 12,557(0)
						計画 イ進捗状況 ウチ算額(万円)・千円 1,440(0) 1,421(0)	○市バス:93両の燃料として活用 ウチ算額(万円)・千円 13,754(0) 13,307(0)	○市バス:93両の燃料として活用 ウチ算額(万円)・千円 13,754(0) 12,557(0)	○市バス:93両の燃料として活用 ウチ算額(万円)・千円 13,754(0) 12,557(0)
						計画 イ進捗状況 ウチ算額(万円)・千円 1,440(0) 1,421(0)	○市バス:93両の燃料として活用 ウチ算額(万円)・千円 13,754(0) 13,307(0)	○市バス:93両の燃料として活用 ウチ算額(万円)・千円 13,754(0) 12,557(0)	○市バス:93両の燃料として活用 ウチ算額(万円)・千円 13,754(0) 12,557(0)
60	1. 再生 可能エネ ルギーの 導入拡大	公共部門 における 活用	南部クリーン センター第2 工場建替え 時におけるバ イオガス化施 設の併設	新たに建替え整備を行う第2 工場では、従来から行ってい るごみ発電の更なる高効率 化や、生ごみのバイオガス化 を行い、ごみの持つエネル ギー回収の最大化を図りま す。	□実施済み又は本 格実施中 ■実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウチ算額(万円)・千円 1,440(0) 1,421(0)	○実施に向けた調整・検討 ウチ算額(万円)・千円 1,440(0) 1,421(0)	○実施に向けた調整・検討 ウチ算額(万円)・千円 1,440(0) 1,421(0)	○実施に向けた調整・検討 ウチ算額(万円)・千円 1,440(0) 1,421(0)
						計画 イ進捗状況 ウチ算額(万円)・千円 1,440(0) 1,421(0)	○実施に向けた調整・検討 ウチ算額(万円)・千円 1,440(0) 1,421(0)	○実施に向けた調整・検討 ウチ算額(万円)・千円 1,440(0) 1,421(0)	○実施に向けた調整・検討 ウチ算額(万円)・千円 1,440(0) 1,421(0)
						計画 イ進捗状況 ウチ算額(万円)・千円 1,440(0) 1,421(0)	○実施に向けた調整・検討 ウチ算額(万円)・千円 1,440(0) 1,421(0)	○実施に向けた調整・検討 ウチ算額(万円)・千円 1,440(0) 1,421(0)	○実施に向けた調整・検討 ウチ算額(万円)・千円 1,440(0) 1,421(0)

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
61	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	公共部門における活用	下水汚泥(メタンガス)の有効利用	下水汚泥からメタンガスを取り出し、燃料としての有効利用を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況	○利用方法等の検討 ○下水汚泥から発生するメタンガスを焼却炉及びボイラーの補助燃料として利用 ○下水汚泥から発生する脱水ケーキを東部クリーンセンターで湿焼し、ごみ発電に利用 ・計画利用量(約19%) (メタンガス: 2,646,050 Nm ³ (2,755ds-t) 約8%, 脱水ケーキ: 5,664t (3,568ds-t) 約11%) ※ 計画年間汚泥量 約33,377ds-t	○下水汚泥から発生するメタンガスを焼却炉及びボイラーの補助燃料として利用 ・利用量(約8.6%) (メタンガス: 2,400,090Nm ³ (2,665ds-t)) ※ 年間汚泥量 約31,028ds-t		
				ウチ算額(うち国) 千円 エチ算額(うち国) 千円			0 0	0 0	0 0	0 0
62	2. 地域におけるエネルギーゲームジェメント	スマート・コミュニティの構築	岡崎地域等における新たなエネルギー・マネジメントシステムの構築	情報通信技術を活用して再生可能エネルギーを地域内で融通し合うスマートグリッドの構築に加え、交通の最適化や地域ぐるみのエコ行動の促進を含めたスマート・コミュニティの研究を行い、実証を進めます。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況	○「スマートシティ京都研究会」の開催(3回: 6月、8月、3月) ○岡崎地域、らんくなん進都、職住共存地域分科会の開催(10回)岡崎3回、らんくなん進都3回、職住共存4回 ○「スマートコミュニティ構想宣言及支援事業(経済産業省)」へ公募提案書提出(8月)事業選定(10月) ○「スマートシティ京都プロジェクト」ロードマップ案作成(3月)	○「スマートシティ京都研究会」の開催(8月、3月) ○動物園へのBEMSの導入 ○国際交流会館への太陽光発電設置 ○次世代環境配慮型住宅の着工		
				ウチ算額(うち国) 千円 エチ算額(うち国) 千円			6,500(0) 5,471(0)	11,500(0) 9,942(0)	75,800(15,000)	75,000(15,000)
63	2. 地域におけるエネルギーゲームジェメント	スマート・コミュニティの構築	エコ・コンパクトな都市に向けた土地利用の促進	新たな都市計画マスタープランを策定し、地域ごとの特性を生かすための多様な個性的、かつ秩序ある土地利用の展開や地球環境への負荷の少ない集約的な都市機能の配置を図り、様々な都市活動を持続的に展開することのできる都市を実現します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況	○平成24年2月22日新たな「京都市都市計画マスタープラン」策定	○都市計画マスタープラン策定、推進 ○京都市駅周辺等にふさわしい都市機能検討委員会の開催(6月、9月、11月、12月、1月、3月) ○駅周辺にふさわしい都市機能の集積のあり方(案案)について「」に対するパブリックコメントの実施 ○京都市駅周辺等にふさわしい都市機能検討委員会の「駅周辺にふさわしい都市機能の集積のあり方について」(提言)の提出		
				ウチ算額(うち国) 千円 エチ算額(うち国) 千円			10,500(0) 13,428(0)	10,200(0) 4,258(0)	7,500(0)	3,400(0)

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	
64	1. エコ生活の普及促進	エコを楽しく格好よく	京朝スタイルの普及	「太陽が昇ったら起きて、沈んだら寝る」という自然のサイクルに沿った、京都発の、健康的で環境にもやさしい朝型のライフスタイルを推進する取組である「京朝スタイル」の普及を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	○事業実施(京朝スタイル月間の取組) ○朝講座の開設(7～9月) ○京朝写真コンテストの開催(7～9月) ○SNS及びホームページでの朝に関する情報発信(7月～)	○見直し・充実 ○SNS及びホームページでの朝に関する情報発信(4月～)	○見直し・充実	
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	○実施 ODO YOU KYOTO? ホームページによる情報の発信(4月～)	ODO YOU KYOTO? ホームページによる情報の発信(4月～)		
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	○実施 ODO YOU KYOTO? ホームページによる情報の発信(4月～)	ODO YOU KYOTO? ホームページによる情報の発信(4月～)	500(0)	
65	1. エコ生活の普及促進	エコを楽しく格好よく	多様なメディアを積極活用した普及啓発	印刷物への掲載や広報発表に加えて、インターネットやテレビなど、市民に深く浸透しているメディアを積極活用した普及啓発を推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	○市民しんぶん 7月11日号1面(新電)、2月1日号8・9面(IDO YOU KYOTO?) 他。 ○テレビ 7月22日特集(クルススポット)、8月5日市政ニュース(エコマナー) 他。 ○ラジオ 4月26日市政ニュース(太陽エネルギーの利用促進)、1月26日市長出演番組(エコトピア実験) 他。 ○電光掲示板 環境月間や新電の啓発 他。 ○映画 新電をテーマとした映像を約2箇月間上映 他。 ○京都市情報館 トップページでの新電の啓発 他。 ○きょうと動画情報館 IDO YOU KYOTO?クレジット制度」を紹介した動画を制作・配信。 ○京都市生活ガイドブック「暮らしのてびき」IDO YOU KYOTO?」等について誌面で紹介 他。 ○商業誌 新電の啓発 他。	○市民しんぶん 5月1日号16面(太陽光発電設備への助成)、6月1日号2面(省エネ・節電の専門家派遣)、8・9面(環境月間) 他。 ○ラジオ 市政ニュース・PRスポット・市長出演番組で「IDO YOU KYOTO?」「新電」「太陽光発電設備への助成」等の取組紹介・啓発。 ○市民ニュース(ポスター版・テーブルテント版) ポスター版・テーブルテント版で「新電」「太陽光発電設備への助成」等の取組紹介・啓発。 ○電光掲示板 環境月間や地球温暖化防止月間、新電等の取組紹介・啓発。 ○映画 「こみ減量」をテーマとした映像を約3箇月間上映。 ○商業誌(「月刊京都」) クルススポットの取組紹介。 ○京都市情報館 トップページでの新電の啓発 他。 ○きょうと動画情報館 IDO YOU KYOTO?」を紹介した動画を制作・公開。 ○暮らしのてびき IDO YOU KYOTO?」等について誌面で紹介 ○SNS 【公式】京都市情報館Facebook版、Twitter	○見直し・充実	0

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
66	1. エコ生活の普及促進	エコを楽しく格好よく	「DO YOU KYOTO?」デーにおける取組の推進	京都議定書が発効した2月16日を記念し、毎月16日を「DO YOU KYOTO? デー」と定め、この日を中心にライトダウンやノーマイカーデーなど、環境にやさしい取組を市民や事業者とともに実施します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○「DO YOU KYOTO?」プロジェクト147万人推進事業 ○「DO YOU KYOTO?」プロジェクト関連事業への参加者46,686人、協力229社 ○「DO YOU KYOTO?」ラッピングバスの運行	○「DO YOU KYOTO?」プロジェクト関連事業への参加者104,262人、協力239社 ○「DO YOU KYOTO?」ラッピングバスの運行	○「DO YOU KYOTO?」プロジェクト関連事業協力251社 (※関連事業への参加者数は現在集計中) ○「DO YOU KYOTO?」ラッピングバスの運行及び地下鉄への広告掲出 ○「DO YOU KYOTO?」ウェイクの実施(2/11～2/23)	
						ウチ算額(うち国)：千円 エホ算額(うち国)：千円	15,800(0) 15,067(0)	13800(0)	14,100(0)	14,100(0)
						計画	○検討 ※京都学生祭典への支援は継続実施 ○大學生を対象としたエコ・ワーキングプロジェクトの開催。参加者30名 ○学生祭典KYO-SENSEプロジェクトへの支援	○実施 ○学生祭典KYO-SENSEプロジェクトへの支援 ○環境活動団体の取組支援	○大學生を対象としたライフスタイルに関するアンケート調査実施。 ○学生祭典KYO-SENSEプロジェクトへの支援	
67	1. エコ生活の普及促進	エコを楽しく格好よく	「大学のまち京都・学生のまち京都」の学生が在籍する京都府の特性を踏まえ、学園祭などのイベントにおける京都市との協働など、学生の力を活用したエコ活動の推進	人口の約1割に当たる学生が在籍する京都府の特性を踏まえ、学園祭などのイベントにおける京都市との協働など、学生の力を活用したエコ活動の推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○検討 ※京都学生祭典への支援は継続実施 ○大學生を対象としたエコ・ワーキングプロジェクトの開催。参加者30名 ○学生祭典KYO-SENSEプロジェクトへの支援	○実施 ○学生祭典KYO-SENSEプロジェクトへの支援 ○環境活動団体の取組支援	○大學生を対象としたライフスタイルに関するアンケート調査実施。 ○学生祭典KYO-SENSEプロジェクトへの支援	
						ウチ算額(うち国)：千円 エホ算額(うち国)：千円	140(0) 140(0)	0 0	1,000(0)	3200(0)
						計画	○検討 ※京都学生祭典への支援は継続実施 ○大學生を対象としたエコ・ワーキングプロジェクトの開催。参加者30名 ○学生祭典KYO-SENSEプロジェクトへの支援	○実施 ○学生祭典KYO-SENSEプロジェクトへの支援 ○環境活動団体の取組支援	○大學生を対象としたライフスタイルに関するアンケート調査実施。 ○学生祭典KYO-SENSEプロジェクトへの支援	
68	1. エコ生活の普及促進	エコを楽しく格好よく	エコドライブの推進	燃料消費量の少ない運転方法であるエコドライブについて、広く一般ドライバーへの普及を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○検討 ※京都学生祭典への支援は継続実施 ○エコドライブ推進事業	○実施 ○京都学生祭典への支援を実施	○実施 ○京都学生祭典への支援を実施	
						ウチ算額(うち国)：千円 エホ算額(うち国)：千円	5,500(0) 5,500(0)	5,500(0) 5,500(0)	5,500(0) 5,500(0)	5,500(0) 5,500(0)
						計画	○検討 ※京都学生祭典への支援は継続実施 ○エコドライブ推進事業	○実施 ○京都学生祭典への支援を実施	○実施 ○京都学生祭典への支援を実施	○エコドライブ教室の開催 ○市内教習所でのエコドライブ講習(委託)
						ウチ算額(うち国)：千円 エホ算額(うち国)：千円	7011(0) 6,987(0)	6,975(0)	4418(0)	3841(0)

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像4 環境にやさしいライフスタイル

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
69	1. エコ生活の普及促進	エコで健康に	農林水産物の地産地消と「京の侍ち食」の普及・推進による環境に配慮した食生活の普及	旬の時期を待って地元食材を食べる「京の侍ち食」の普及や、環境に配慮しながら「買い物」・「料理」・「片づけ」を行うエコクッキングなどの取組を通して、食材の生産・輸送・調理に使用するエネルギー量を低減し、環境負荷の小さい食生活の普及を図ります。	☒ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)・千円 エ決算額(うち国)・千円	○森と海と暮らしの連携プロジェクト、京の食文化普及啓発事業 ○京エコロジセンターにおけるエコクッキングの開催(18回) ○鴨川の天然アユの翅上数の確認(20,000尾) 158,372(0)のー部 158,372(0)のー部	○見直し・充実 ○京エコロジセンターにおけるエコクッキングの開催(35回) 149,338(0)のー部 149,338(0)のー部	○京エコロジセンターにおけるエコクッキングの開催(30回) 148,338(0)のー部 152,577(0)のー部	
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)・千円 エ決算額(うち国)・千円	○森と海と暮らしの連携プロジェクト、京の食文化普及啓発事業 ○地下鉄駅ナカ等において直売所を開設し、「京の侍ち食」の啓発を実施(4月～) 167,500(167,500) 159,599(159,500)	○見直し・充実 ○地下鉄駅ナカ等において直売所を開設し、「京の侍ち食」の啓発を実施(4月～) 93,300(93,300) 93,300(93,300)	○地下鉄駅ナカ等において直売所を開設し、「京の侍ち食」の啓発を実施(7月～) 15,000(15,000) 5,000(5,000)	
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)・千円 エ決算額(うち国)・千円	○京都一周トレイル運営など ○京のアジェンダ21フォーラムにおいて、ワークショップ等を行い、エコリズムの普及啓発を実施。 京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)のー部 京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)のー部	○見直し・充実 ○京のアジェンダ21フォーラムにおいて、ワークショップ等を行い、エコリズムの普及啓発を実施。 京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)のー部 京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)のー部	○京のアジェンダ21フォーラムが参加する京都カーフリーデー実行委員会において、京都カーフリーデー2013を実施。 京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)のー部 京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)のー部	京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)のー部 京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)のー部
70	1. エコ生活の普及促進	エコで健康に	歩行空間や自転車利用環境の整備	地球温暖化対策だけでなく、観光振興や健康面のサポートといった観点から、徒歩や適正な自転車利用を推進するための環境の整備を行います。	☒ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)・千円 エ決算額(うち国)・千円	○京都一周トレイル運営など ○京都一周トレイルマップの作成・販売、道標の整備、コースの維持補修(4月～) ※全コースマップの日英併記化を完了(9月) 3,100(0) 3,100(0)	○見直し・充実 ○京都一周トレイルマップの作成・販売、道標の整備、コースの維持補修(4月～) ※英語版ダイジェストコースマップの作成・販売(11月) 2,600(0) 2,600(0)	○京都一周トレイルマップの作成・販売、道標の整備、コースの維持補修(4月～) ※東山コース・西山コースの道標の英文表記化の実施 2,600(0) 2,600(0)	
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)・千円 エ決算額(うち国)・千円	○自転車等駐車場の整備 ○自転車通行環境の整備 ○自転車等駐車場の整備 ・京都市民間自転車等駐車場整備助成金制度の活用による整備 12箇所797台 ・無料駐輪場の有料化再整備 1箇所286台(平成24年4月供用開始) ・道路占用による整備 1箇所141台(平成24年3月供用開始) ○自転車通行環境の整備 ・自転車通行環境整備プログラム(案)の作成 28,000(0) 26,751(0)	○見直し・充実 ○自転車等駐車場の整備 ・京都市民間自転車等駐車場整備助成金制度の活用による整備 9箇所554台 ・無料駐輪場の有料化再整備 1箇所286台(平成24年4月供用開始) ・道路占用による整備 1箇所57台(平成25年3月供用開始) ○自転車通行環境の整備 ・御池通(御池大橋西詰～堀川通)詳細設計着手 ・烏丸通(丸太町通～御池通)工事 ・七条通(大宮通～千本通)詳細設計 114,000(39,450) 52,610(12,340)	○自転車等駐車場の整備 ・京都市民間自転車等駐車場整備助成金制度の活用による整備 10箇所593台 ・無料駐輪場の有料化再整備 2箇所3346台 ○自転車通行環境の整備 ・七条通(大宮通～千本通)工事着手	
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)・千円 エ決算額(うち国)・千円	○自転車等駐車場の整備 ・京都市民間自転車等駐車場整備助成金制度の活用による整備 12箇所797台 ・無料駐輪場の有料化再整備 1箇所286台(平成24年4月供用開始) ・道路占用による整備 1箇所141台(平成24年3月供用開始) ○自転車通行環境の整備 ・自転車通行環境整備プログラム(案)の作成 28,000(0) 26,751(0)	○見直し・充実 ○自転車等駐車場の整備 ・京都市民間自転車等駐車場整備助成金制度の活用による整備 9箇所554台 ・無料駐輪場の有料化再整備 1箇所286台(平成24年4月供用開始) ・道路占用による整備 1箇所57台(平成25年3月供用開始) ○自転車通行環境の整備 ・御池通(御池大橋西詰～堀川通)詳細設計着手 ・烏丸通(丸太町通～御池通)工事 ・七条通(大宮通～千本通)詳細設計 114,000(39,450) 52,610(12,340)	○自転車等駐車場の整備 ・京都市民間自転車等駐車場整備助成金制度の活用による整備 10箇所593台 ・無料駐輪場の有料化再整備 2箇所3346台 ○自転車通行環境の整備 ・七条通(大宮通～千本通)工事着手	41,300(6,400)

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
71	1. エコ生活の普及促進	エコを学ぶ	子どもへの環境教育の推進	子どもの夏休みや冬休みなどを活用して、家族ぐるみで省エネに取り組んでもらうに どもエコライフチャレンジ」や、学校のエコスクール化などの取組を通して、将来を担う子どもたちへの様々な環境教育を推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(万円)・千円 本決算額(万円)・千円	○「こどもエコライフチャレンジ」全市立小学校にて実施 21,247(0) 20,511(0)	○「こどもエコライフチャレンジ」全市立小学校にて実施中 20,356(0) 19,904(0)	○「こどもエコライフチャレンジ」全市立小学校にて実施中 20,856(0)	22,356
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(万円)・千円 本決算額(万円)・千円	○こどもエコライフチャレンジ推進事業など ・市立朱雀第四小学校エコ改修建築工事:京和産業(株)H23.7.20契約 機械設備工事:(株)辻村工業所H23.7.21契約 電気設備工事:(株)雄電H23.8.1契約 ・屋上断熱等改修工事の実施	○こどもエコライフチャレンジ推進事業などの実施 ○環境に配慮した学校施設の長寿命化事業 ・着工(3校) ○屋上断熱等改修工事を7校で実施(3月) ○屋上断熱等改修工事を3校で実施	○京都市立小中学校体育館防災機能強化等整備事業 ・設計着手(改築2校・リニューアル3校) ○環境に配慮した学校施設の長寿命化事業 ・着工(3校) ○屋上断熱等改修工事を3校で実施	(長寿命化事業)1,025,200千円 (屋上断熱等改修)45,000千円 (体育館整備事業)332,700千円 (長寿命化事業)1,175,200千円 (屋上断熱等改修)164,000千円 (体育館整備事業)605,270千円
72	1. エコ生活の普及促進	エコを学ぶ	総合環境情報作成・全戸配布	地球温暖化対策のポイントを盛り込んだ総合環境情報誌を作成し、全戸配布を行うことに より、市民一人ひとりの意識啓発を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(万円)・千円 本決算額(万円)・千円	○配布・周知 ○「京都ごみ減量・分別ハンドブック保存版」に係る追記版を市民ふんぶん区版へ挟み込み、全戸配布を実施。(3月)	○「京都ごみ減量・分別ハンドブック保存版」を全戸配布済み		
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(万円)・千円 本決算額(万円)・千円	○実施 ○平成23年度以前から実施 ・環境ボランティア登録数:136(エコメイ155, エコサポーター81)名 158,372(0)の一部 158,372(0)の一部	○環境ボランティア登録数:145(エコメイ51, エコサポーター94)名 149,338(0)の一部 149,338(0)の一部	○環境ボランティア登録数:155(エコメイ47, エコサポーター108)名 148,338(0)の一部 152,577(0)の一部	
73	1. エコ生活の普及促進	エコを学ぶ	京エコロジセンターを中心としたエコ学習の展開と人材育成	GCP3開館の記念館である京エコロジセンターを中心としてエコ学習を展開することにより、地球温暖化対策に対する意識の向上を図ります。また、京エコロジセンターのボランティア活動を通して、環境問題に主体的に取り組み市民を育てていきます。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(万円)・千円 本決算額(万円)・千円	○実施 ○平成23年度以前から実施 ・環境ボランティア登録数:136(エコメイ155, エコサポーター81)名 158,372(0)の一部 158,372(0)の一部	○環境ボランティア登録数:145(エコメイ51, エコサポーター94)名 149,338(0)の一部 149,338(0)の一部	○環境ボランティア登録数:155(エコメイ47, エコサポーター108)名 148,338(0)の一部 152,577(0)の一部	
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(万円)・千円 本決算額(万円)・千円	○低炭素のモデル地区「エコ学区」事業など ○各区・支所管内で1箇所ずつ計14箇所のエコ学区を認定(7月) ○くらしの匠事業 2学区実施 ○うちエコ診断事業 5学区実施 ○地域実践事業 7学区実施	○情報交流会の開催(6月) ○くらしの匠事業 2学区実施 ○うちエコ診断事業 5学区実施 ○地域実践事業 7学区実施	○エコ学区数 163学区 ○うちエコ診断、くらしの匠、学習会実施中 29,300(0) 26,893(0)	38,800(0)
74	2. 地域コミュニティにおけるエコ活動の推進	地域ぐるみのエコ活動	エコ学区、エコ商店街、エコ大学など新たな「エコ・コミュニティ」の創設	地域活動の基本単位である学区や商店街を対象に、地球温暖化対策を地域ぐるみで集中的に取り組む「エコ・コミュニティ」を新たに創設するとともに、京都市の人口の約1割に相当する学生の力を活用した温室効果ガス排出量削減の取組を推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(万円)・千円 本決算額(万円)・千円	○実施 ○平成23年度以前から実施 ・環境ボランティア登録数:136(エコメイ155, エコサポーター81)名 158,372(0)の一部 158,372(0)の一部	○環境ボランティア登録数:145(エコメイ51, エコサポーター94)名 149,338(0)の一部 149,338(0)の一部	○環境ボランティア登録数:155(エコメイ47, エコサポーター108)名 148,338(0)の一部 152,577(0)の一部	
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(万円)・千円 本決算額(万円)・千円	○実施 ○平成23年度以前から実施 ・環境ボランティア登録数:136(エコメイ155, エコサポーター81)名 158,372(0)の一部 158,372(0)の一部	○環境ボランティア登録数:145(エコメイ51, エコサポーター94)名 149,338(0)の一部 149,338(0)の一部	○環境ボランティア登録数:155(エコメイ47, エコサポーター108)名 148,338(0)の一部 152,577(0)の一部	

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
75	2. 地域コミュニティにおけるエコ活動の推進	地域ぐるみのエコ活動	各区におけるエコ活動支援事業の推進	各区の環境パートナーシップ事業など、各区におけるエコ活動支援事業を推進します。	☒ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円
						○各区環境パートナーシップ事業など ○各区からの事業提案を審査し、助成金を令達(5月) ○市民活動団体と区役所が協働して事業を実施(5月～3月)	○各区からの事業提案を審査し、助成金を令達(4月) ○市民活動団体と区役所が協働して事業を実施(4月～)	○平成24年度をもって事業終了	○平成24年度をもって事業終了
						7,000(0) 6,629(0)	7,000(0) 6,580(0)	0	0
76	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	住宅の低炭素化の推進	既存住宅における省エネ改修の支援拡大の検討	自ら居住する住宅のエコリフォームを行う費用について、金融機関と連携して、低利率で融資をあっせんするなど、既存住宅を対象に、省エネ改修に対する支援の拡大を検討します。	☒ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円
						○エコリフォーム融資の創設及び受付開始(4月～) ○融資件数：17件	○京都市との協調により、融資件数の拡大、融資限度額の増額、融資利率の通年固定化、対象使途の拡大(4月～) ○融資件数：68件	○エコリフォーム融資の実施(4月～) ○融資件数 47件	○エコリフォーム融資の実施(4月～) ○融資件数 47件
						45,000(0) 37,400(0)	120,000(0) 32,900(0)※	140,000(0)	○既存住宅の省エネリフォーム等支援事業142,400(54,000) ○エコリフォーム融資140,000(0)
77	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	住宅の低炭素化の推進	省エネ住まい、省エネアドバイザー制度の創設	住宅の省エネ改修について、技術的なアドバイスを行える人材を養成するとともに、京都らしい環境配慮の方策も含め、市民が安心して住宅の省エネ改修に関する技術的な相談を行える環境を整備します。	☒ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円
						○検討	○検討	○創設	○創設
						○京のアジェンダ21フォーラムが事務局を務める、「家庭の省エネ相談所協議会」を設置し、今後の実施体制等について協議。 ○「家庭の省エネアドバイザー養成研修会」を開催(16名参加) ○「家庭の省エネ相談所」を開設(21箇所、1,297名相談) 京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)の一部 京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)の一部	○京のアジェンダ21フォーラムが事務局を務める、「家庭の省エネ相談所協議会」が「家庭の省エネ相談所」を開設(28所、相談件数1,426件) 京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)の一部 京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)の一部	○京のアジェンダ21フォーラムが事務局を務める、「家庭の省エネ相談所協議会」が「家庭の省エネ相談所」を開設(28所、相談件数1,426件) 京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)の一部 京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)の一部	○京のアジェンダ21フォーラムが事務局を務める、「家庭の省エネ相談所協議会」が「家庭の省エネ相談所」を開設(28所、相談件数1,426件) 京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)の一部 京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)の一部
						○すまいよろず相談「分野における相談業務を実施(4月～)」 ○同制度の実施に向けた情報収集	○すまいよろず相談における相談業務を実施(4月～) ○同制度の実施に向けた情報収集	○すまいよろず相談における相談業務に関する相談業務の実施(4月～)	○すまいよろず相談における相談業務に関する相談業務の実施(4月～)
						0 0	0 0	0	0
						0 0	0 0	0	0

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
78	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	エネルギー使用量の見える化の推進	家庭における省エネ診断の拡充	省エネの専門家が専用のツールを用いて、各家庭の二酸化炭素排出状況を「見える化」し、削減余地の大きいものに対して集中的に対策の提案を行うなど、各家庭の様々なライフスタイルに合ったオーダーメイドの対策を実施し、確実な二酸化炭素削減を図ります。	☒ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画 イ進捗状況	○検討 ※環境家計簿はインターネット版で継続 (インターネット版環境家計簿) ○①企業やグループ単位での取組を促進するため②お試し機能を追加し、気軽に環境家計簿の改良を実施 ○うちエコ診断を低炭素のモデル地区「エコ学区」事業の一部として実施	○実施 ○インターネット版環境家計簿の継続実施 ○うちエコ診断を「エコ学区」事業として実施		
						予算額(うち国)：千円 工事費額(うち国)：千円	0 0	0 0	0	0
79	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	エネルギー使用量の見える化の推進	省エネラベル制度の拡充の検討	現在、エアコン・電気冷蔵庫・テレビ・蛍光灯照明器具・電気便座の5種類の家電製品を対象としている省エネラベル制度の拡充を検討します。	☐ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☒ 着手前	計画 イ進捗状況	○検討 検討中	○対象の拡大 ○国の省エネラベリング制度(18種)等の普及・啓発	○国の省エネラベリング制度(21種)等の普及・啓発	
80	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	エネルギー使用量の見える化の推進	既存住宅の環境配慮性能を表示する制度のあり方の検討	既存の住宅に対して、環境配慮性能を表示する制度のあり方を検討します。	☒ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画 イ進捗状況	○検討※CASBEE京都と住宅性能評価制度との整合を図る ○京のアジエンダ21フォーラムにおいて、勉強会の開催を検討 20,634(0)の一部 20,634(0)の一部	○京のアジエンダ21フォーラムにおいて、勉強会を開催 ○平成24年度からCASBEE京都(戸建・既存)を開始 京のアジエンダ21フォーラム推進費 17,132(0)の一部 京のアジエンダ21フォーラム推進費 17,132(0)の一部	○京のアジエンダ21フォーラムにおいて、勉強会を開催 京のアジエンダ21フォーラム推進費 17,132(0)の一部 京のアジエンダ21フォーラム推進費 17,132(0)の一部	

本市制度が全国に波及し、対象が21種に拡大している。

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
81	1. 環境産業の振興・育成	産学公連携による環境技術の開発	京都府・経済界との連携による「京都産業育成コンソーシアム」の設立	府・市・経済界の枠組を超えた、「オール京都」による体制を構築し、環境、医療、健康、映画・コンテンツをはじめとする次代を担う成長産業の育成を図ります。	☒ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画 イ進捗状況	○「京都産業育成コンソーシアム」の設立 ○「京都産業育成コンソーシアム」事務局の開設(4月) ○「きょうと産業人材育成情報サイト」をHPに開設(7月) ○「知恵産業支援施策ガイド」をHPに開設(1月) ○「人材育成・活用セミナー」(11月)、 「知恵産業推進セミナー」(1月)を実施	○共同プロジェクトの実施 など ○「Kyoto Japan」ロゴマーク登録事業者募集開始(5月) ○京都産業エコ・エネルギー推進機構設立(7月) ○知恵産業創造支援事業審査委員会運営(8月) ○京都・企業お役立ちナビの開設(8月) ○京都産業エコ・エネルギー推進機構シンポジウム実施(12月) ○京都産業エコ・エネルギー推進機構一般社団法人化(3月) ○「人材育成・活用セミナー」実施(3月)	○京都産学公連携機構の事務局をコンソーシアム内に設置(4月) ○京都知恵産業支援共同事業の立ち上げ(4月) ○知恵産業創造支援事業審査委員会運営(6月) ○京都産業エネルギー戦略部会設立(7月) ○機器活用オープンディ(8月)、活用機器見学会(8月、3月) ○機器活用HP開設(10月) ○「知恵ビジネスメンサ」(京都商工会議所主催)を共催(11月)	4,000(0) 4,000(0)
						ウチ算額(うち国、千円) 2,800(0) 2,800(0) エチ算額(うち国、千円) 4,000(0) 4,000(0)	○京都環境ナカクラスター事業 ○京の環境みらい創生事業			
82	1. 環境産業の振興・育成	産学公連携による環境技術の開発	研究成果を生かした環境・エネルギー関連産業などの育成・振興	「環境ナノテクノロジー」をテーマに各種事業に取り組んできた京都環境ナカクラスター事業の成果を生かし、ベンチャー企業の創出や技術移転による事業化の促進を進めます。	☒ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画 イ進捗状況	○現在の研究成果の課題と今後の方向性を検討(4月～3月)	○平成20～24年度の事業期間において、目標とする75億円を上回る売上高104.6億円を達成。 ○圧倒的省エネルギーを実現するSiC MOSFETの開発とSiCデバイスの量産の実現 ○高感度・高耐久・高耐熱性を持った化合物半導体素子集積回路の開発	○二酸化炭素のエネルギー利用等を実現する「京都次世代エネルギーシステム創造戦略」が文部科学省公募事業の「地域イノベーション戦略支援プログラム」に採択。平成25年8月から事業開始。 ○革新的SiCパワー半導体の社会実装の促進を目指す「クリーン・低環境負荷社会を実現する高効率エネルギー利用システムの構築」をJST公募事業の「スーパークラスタープログラム」に申請し、平成25年12月から事業開始	地域イノベ:219,473 (182,523) (京都市負担:27,500) スーパークラスター:350,000(350,000)
						ウチ算額(うち国、千円) 643,500(580,000)(市負担額:41,500) エチ算額(うち国、千円) 626,100(562,600)(市負担額:41,500)		626,100(562,600)(市負担額:41,500)	地域イノベ:183,400(147,000) (京都市負担:29,000) スーパークラスター:315,000(315,000)	
83	1. 環境産業の振興・育成	産学公連携による環境技術の開発	付加価値の高い新産業を創造する京都版SBRの推進	新技術・新製品開発に取り組む市内中小事業者や中小ベンチャー企業の新技術を利用した事業活動を支援するため、京都の地域・プラットフォーム支援体制の強みを生かした研究開発段階から販路開拓までを一貫して支援する仕組み(Small Business Innovation Research)を推進します。	☒ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画 イ進捗状況	○研究開発補助事業:5件採択(6月) ○新事業・事業展開可能性調査事業:5件採択(6月) ○ベンチャー企業目利き委員会:Aランク認定8社(9月、3月) ○オスカー認定審査委員会:認定8社(9月、2月)	○研究開発補助事業:4件採択(6月) ○新事業・事業展開可能性調査事業:3件採択(6月) ○ベンチャー企業目利き委員会:Aランク認定7社(9月、3月) ○オスカー認定審査委員会:認定12社(8月、3月)	○研究開発補助事業:6件採択(6月) ○新事業・事業展開可能性調査事業:3件採択(6月) ○ベンチャー企業目利き委員会:Aランク認定9社(9月、3月) ○オスカー認定審査委員会:認定11社(8月、3月)	124,284(0) 120,998(0)
						ウチ算額(うち国、千円) 129,147(0) エチ算額(うち国、千円) 124,248(0)		686,470(622,970)	○創設 ○実施	102,073(0)

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
84	1. 環境産業の振興・育成	事業拡大支援	低炭素社会の実現を先導する環境先進産業(環境エネルギー関連産業)のブランド化	低炭素社会の実現に先導的な役割を果たす京都の環境・エネルギー関連産業の事業拡大支援と産業のブランド化を図ることを目的に情報発信を行います。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況	計画 イ進捗状況	計画 イ進捗状況	計画 イ進捗状況
						ウチ予算(うち国・千円) 1,995(0)	ウチ予算(うち国・千円) 2,000(0)	ウチ予算(うち国・千円) 20,000(0)	ウチ予算(うち国・千円) 15,000(0)
85	1. 環境産業の振興・育成	事業拡大支援	カーボン・フットプリントの活用による環境価値の「見える化」の促進	原材料の調達から製造、輸送、消費後の廃棄に至るまでの過程で、電力や燃料の消費などを通してその商品が排出する温室効果ガスの量を積み上げ、二酸化炭素に換算して表示するカーボン・フットプリントの活用により、環境価値の「見える化」と低炭素商品の普及を促進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況	計画 イ進捗状況	計画 イ進捗状況	計画 イ進捗状況
						ウチ予算(うち国・千円) 1,995(0)	ウチ予算(うち国・千円) 2,000(0)	ウチ予算(うち国・千円) 20,000(0)	ウチ予算(うち国・千円) 15,000(0)
86	1. 環境産業の振興・育成	事業拡大支援	グリーン購入の促進	製品やサービスを購入する際に、環境への負荷が少ないものを選んで購入するグリーン購入について、事業者としての京都市が率先して取り組みます。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況	計画 イ進捗状況	計画 イ進捗状況	計画 イ進捗状況
						ウチ予算(うち国・千円) 0	ウチ予算(うち国・千円) 0	ウチ予算(うち国・千円) 0	ウチ予算(うち国・千円) 0
87	2. 企業における低炭素化の促進	中小事業者における低炭素化の促進	高効率機器の導入に対する補助	中小事業者の地球温暖化対策と省コストによる経営基盤強化を実現する高効率機器の導入に対する補助を行います。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況	計画 イ進捗状況	計画 イ進捗状況	計画 イ進捗状況
						ウチ予算(うち国・千円) 16,697(5,439)	ウチ予算(うち国・千円) 18,000(0)	ウチ予算(うち国・千円) 18,000(0)	ウチ予算(うち国・千円) 27,640(0)

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
88	2. 企業における低炭素化の促進	中小事業者における低炭素化の促進	環境配慮活動に対する低利融資	環境に配慮した事業活動を行う事業者に対する低利融資制度の充実を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	○実施 ○環境保全資金融資制度融資の受付(4月～) ○環境経営促進金利優遇制度の実施(4月～) ○融資実績：2件(継続)	○実施 ○環境保全資金融資制度融資の受付(4月～) ○融資実績：1件(継続)	25,379(0)
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	62,940(0) 7,300(0)	63,809(0) 5,600(0)	41,696(0) 4791
89	2. 企業における低炭素化の促進	中小事業者における低炭素化の促進	低炭素型経済活動を推進する人材育成と助言・診断の仕組みの充実	KESなどの環境マネジメントシステムの取組を促進するアドバイザーの派遣や、低炭素型経済活動を推進する人材育成を図るセミナーを開催するとともに、「省エネ診断事業」をはじめとする事業者への支援の充実を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	○実施 ○市内の中小事業者を対象に省エネ・節電アドバイザーを派遣し、事業者が抱える潜在的な省エネ・エネルギーや節電の問題を明らかにするとともに、その問題の解決に取り組むべき方策などのアドバイスを実施(72件) ○市内の中小事業者を対象に省エネ及び節電に関する専門的な知識を有したコンサルタント事業者を派遣し、エネルギー使用の改善策を提案する。(30件)	○省エネ・節電アドバイザーが主に民生・業務部門事業所を訪問し、事業所に応じた最適なアドバイスをを行うことで、事業者が「気持ち」や「きっかけ」を与えられることも、省エネ・節電に関する様々な制度等についての情報提供を実施。(37件) ○事業所・工場に専門家を無料で派遣し、設備の運転状況の確認、データ計測・分析による改善提案等を行う。(省エネ・節電診断：44件)	省エネ・節電診断：6,500(0) 省エネ・節電アドバイザー：2,700(0)
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	9,243(0) 8,834(0)	省エネ・節電診断：6,228(0) 省エネ・節電診断：6,227(0)	省エネ・節電診断：6,500(0) 省エネ・節電アドバイザー：2,700(0)
90	2. 企業における低炭素化の促進	中小事業者における低炭素化の促進	ノンフロン製品(業務用冷蔵庫・冷凍機器など)の普及促進	強力な温室効果ガスである代替フロンを冷媒として使用しない業務用冷蔵庫・冷凍機器など、低炭素化につながる機器の優先導入に関する普及啓発を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	○実施 検討中	○地方税改正によりノンフロン製品の固定資産税の軽減措置が決定。 ○京都市Website上で、ノンフロン製品の普及促進のためのページを作成。	
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	○実施		
91	2. 企業における低炭素化の促進	大規模事業者における低炭素化の促進	事業者排出量削減計画(事業計画)における総合評価制度の導入と低評価の場合の追加削減対策	特定事業者に作成及び提出を条例により義務付けている事業者排出量削減計画(事業計画)において、排出削減量(率)、エネルギー効率改善、削減対策の取組内容、低炭素型社会の形成に貢献する製品・サービスの供給など、事業活動の低炭素化に向けた取組を総合的に評価し、自主的な排出削減の更なる促進を図ります。 また、削減対策が不十分な低評価の特定事業者に対しては、クレジットの購入によるカーボン・オフセットの実施を促すなど、追加削減対策の指導助言を行います。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	○実施 削減計画の開始 ・事業者排出量削減計画の受理(～9月末) ・削減計画の総合評価の実施、公表(3月) ・低評価事業者への訪問調査、エネルギー使用の合理化に資する措置等を指導・助言(15件、3月)	平成24年度の温室効果ガス排出実績を示す事業者排出量削減報告書を受理(平成24年度の目標値約181万トン(特定事業者149者の合計)に対し、約173万トンの実績)	事業者排出量削減計画制度 7,300(0)
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 エ決算額(うち国)：千円	7,500(0) 5,803(0)	7,700(0) 7,404(0)	7,300(0) 事業者排出量削減計画制度

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
92	2. 企業における低炭素化の促進	大規模事業者における低炭素化の促進	環境マネジメントシステムの導入義務化	特定事業者に対して、事業活動の低炭素化に向けた取組を強力に促すため、環境マネジメントシステムの導入を義務化します。	☒ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画	○実施	平成23年度の環境マネジメントシステムの導入状況を示す環境マネジメントシステム導入報告書を受理(特定事業者147者中103者が導入済み)	平成24年度の環境マネジメントシステムの導入状況を示す環境マネジメントシステム導入報告書を受理(特定事業者149者中110者が導入済み)	
						イ進捗状況	○義務化の開始 ・事業者排出量削減計画書の計画期間中(2013～25年度)にEMSを取得することを促進	7,700(0) 事業者排出量削減計画書制度 7,700(0)	7,300(0) 事業者排出量削減計画書制度	事業者排出量削減計画書制度
93	3. 環境価値の創出・循環	環境価値の需要拡大	環境に配慮した観光の推進	京都において創出されたクレジットを活用し、京都観光に伴う温室効果ガス排出量の一部をオフセットする低炭素型のエコ観光や、地域固有の自然環境・歴史文化を学び、体験する、歩いて巡る観光の推進や、環境に配慮したサービス・施設の促進などの普及を図ります。	☒ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画	○実施	○カーボン・オフセット付き観光旅行プランの提供(12月～3月) ○カーボン・オフセット付き観光支援スマホアプリ(京都府にある観光NavIの展開(12月～3月))	○カーボン・オフセット付き観光旅行プランの提供(7月～9月、1月～3月)	
						イ進捗状況	○「DO YOU KYOTO?クレジット」制度の創設(8月) ○クレジット認証を実施(2月～3月)	14,200(0) 4,688(0)	19,525(0) 3,530(0)	17,710(0) 6,000(0)
94	3. 環境価値の創出・循環	環境価値の需要拡大	会議・イベントにおけるカーボン・オフセットの推進	京都において創出されたクレジットを活用し、地域で開催される会議やイベントに伴う温室効果ガス排出量の一部をオフセットする低炭素型イベントの普及を図ります。	☒ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画	○実施	○京都一周トレイルマップの作成・販売、道標の整備、コースの維持補修(4月～) ※英語版ダイジェストコースマップの作成・販売(11月)	○京都一周トレイルマップの作成・販売、道標の整備、コースの維持補修(4月～) ※東山コース・西山コースの道標の英文表記化の実施	
						イ進捗状況	○「DO YOU KYOTO?クレジット」制度の創設(8月) ○クレジット認証を実施(2月～3月)	2,600(0) 3,100(0)	2,600(0) 2,600(0)	2,600(0)
95	3. 環境価値の創出・循環	環境価値の需要拡大	京都市役所総排出量削減推進制度の創設	京都市役所におけるエネルギー管理を徹底し、事業部門別の温室効果ガス排出量の現状把握を行い、将来的な総排出量の上限を定める制度の導入を検討します。	☐ 実施済み又は本格実施中 ☒ 実施前最終段階 ☒ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画	○実施	○京都市役所における省エネナビ(使用電力の見える化)機器)の設置、データ収集	○京都市役所における省エネナビの追加設置、データ収集の継続 ○モニタリング結果に基づく省エネ対策の実施及び省エネ対策を提案	○市役所本庁舎におけるデータ収集の継続
						イ進捗状況	○エネルギー使用量の詳細把握、制度検討	14,200(0)再掲 4,688(0)再掲	19,525(0)再掲 3,530(0)再掲	17,710(0)再掲 6,000(0)再掲
95	3. 環境価値の創出・循環	環境価値の需要拡大	京都市役所総排出量削減推進制度の創設	京都市役所におけるエネルギー管理を徹底し、事業部門別の温室効果ガス排出量の現状把握を行い、将来的な総排出量の上限を定める制度の導入を検討します。	☐ 実施済み又は本格実施中 ☒ 実施前最終段階 ☒ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画	○実施	○京都市役所における省エネナビ(使用電力の見える化)機器)の設置、データ収集	○京都市役所における省エネナビの追加設置、データ収集の継続 ○モニタリング結果に基づく省エネ対策の実施及び省エネ対策を提案	○市役所本庁舎におけるデータ収集の継続
						イ進捗状況	○エネルギー使用量の詳細把握、制度検討	14,200(0)再掲 4,688(0)再掲	19,525(0)再掲 3,530(0)再掲	17,710(0)再掲 6,000(0)再掲

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像6 ごみの減量

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
96	1. そもそもごみを 出さない	すぐにご みになる ものを「買 わない・つ くらない」	NOレジ袋の 全市展開	市民、事業者と連携した本 格的なレジ袋削減の取組を 全市展開します。	■実施済み又は本 格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 ○実施 ○レジ袋削減パネルディスカッションの 開催(10月) ○容器包装材が少ないお買い物の新聞 広告(3月)	○包装材の少ない売場を試行する「エコ ストア実験」を実施(2月～3月)	平成24年度をもっ て事業終了	
						ウチ算額(万円) 千円 地球算額(万円) 千円 7,700(0) 2,629(0)	6,300(0) 6,292(0)		
97	1. そもそ もごみを 出さない	すぐにご みになる ものを「買 わない・つ くらない」	レジ袋削減 協定の拡大	レジ袋の使用を抑制し、マイ バッグなどの持参を促進する ことを目的とした事業者、市 民団体などとの協定の締結 をさらに拡大し、レジ袋の大 幅な削減を図ります。	■実施済み又は本 格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 ○実施 ○第6回レジ袋削減協定の締結(9月)	○第7回レジ袋削減協定の締結(6月)		
						ウチ算額(万円) 千円 地球算額(万円) 千円 0 0	0 0	0 0	0 0
98	1. そもそ もごみを 出さない	すぐにご みになる ものを「買 わない・つ くらない」	ごみの減量と 商店街の活 性化を目指 す「エコ商店 街事業」	はかり売りやはだか売り、対面 販売といった販売方法や、商 店街の持つ地域力を活用し たごみ減量などの取組を推 進します。	■実施済み又は本 格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 ○実施 ○出町商店街におけるエコスタンプ事業 (通年) ○北野商店街におけるエコチケットキャ ンペーン(11月、2月)	○出町商店街におけるエコスタンプ事業 (通年) ○北野商店街におけるエコチケットキャ ンペーン(7,11,2月)	○出町商店街におけるエコスタンプ事業 (通年) ○北野商店街での「きたの夏まつり」での 啓発活動(7月28日)、エコチケット事業 (11月～)、エコチケットキャンペーン(3 月)	200(0) 1,883(0)
						ウチ算額(万円) 千円 地球算額(万円) 千円 1,700(0) 1,700(0)	2,000(0) 1,962(0)		
					計画 ○実施 ○出町柳商店街におけるエコスタンプ事 業(通年実施) ○三条会商店街においてワーケーション を実施 (第1回:9月、第2回:11月、第3回:3月)	計画 ○実施 ○三条会商店街における古紙共同回収 事業を実施(5月～、ダンボール、新聞、雑誌及 び雑紙が対象、1回の回収量約 200kg)	○三条会商店街における古紙共同回収 事業を実施(ダンボール、新聞、雑誌及 び雑紙が対象、1回の回収量約3 00kg)		
						ウチ算額(万円) 千円 地球算額(万円) 千円 21,555(千円)の一部 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 20,147(千 円)の一部	18,790(千円)の一部 雑誌及び雑紙が対象、1回の回収量約 200kg)	17,340(千円)の一部 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 15,123(千円)の一部	

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
99	1. そもそ もごみを 出さない	事業所な どから出 るごみを 減らす	業者収集ご みの透明袋 の導入	資源ごみの分別・資源化と、 ごみの適正排出を推進する ため、京都市のごみ処理施 設に搬入されるごみを対象 に、民間業者（一般廃棄物 許可業者）が収集するごみ 袋を透明袋に限定する制度 を導入します。	■実施済み又は本 格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況	○実施 ○透明袋以外のごみを排出した事業所 への指導を実施 ○透明袋以外のごみに警告シールを貼 付し、収集しないよう許可業者に指示 ○クリーンセンターにおける展開調査を 実施 (3月末現在、展開調査14回及び簡易 目視調査18回実施)	○透明袋以外のごみを排出した事業所 への指導を実施 ○透明袋以外のごみに警告シールを貼 付し、収集しないよう許可業者に指示 ○クリーンセンターにおける展開調査を 実施 (展開調査14回及び簡易目視調査9 回実施)		
100	1. そもそ もごみを 出さない	事業所な どから出 るごみを 減らす	チェーンス トアなどへの事 業系廃棄物 の減量計画 の策定	事業用大規模建築物の所有 者を対象に義務付けている 事業系廃棄物の減量計画書 制度を、一定規模の食品関 連事業者にも対象範囲を拡 大し、幅広い指導を行いま す。	■実施済み又は本 格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況	○対象拡大 ○対象となる食品関連事業者(44事業 者838事業所)から提出された減量計画 書に基づき、立入調査による減量指導 を実施 (3月末現在19事業者を訪問)	○対象となる食品関連事業者(43事業 者841事業所)から提出された減量計画 書に基づき、立入調査による減量指導 を実施(23事業者を訪問)	○対象となる食品関連事業者(43事業 者896店舗)から提出された減量計画書 に基づき、立入調査による減量指導を 実施(21事業者を訪問)	
101	1. そもそ もごみを 出さない	事業所な どから出 るごみを 減らす	業者収集ご み処分手 数の改定	ごみの減量や再資源化を促 すため、ごみ処分手数料の 段階的引き上げを進めます。	■実施済み又は本 格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況	○改定 ○800円/100kgに引き上げ(4月～)	○800円/100kg実施中 ○800円/100kg実施中	○800円/100kg実施中 ○1,000円/100kgへの改定(平成26 年4月～)に向けて、市内事業者に対す る周知啓発を実施	○改定 ○800円/100kg実施中 ○1,000円/100kgへの改定(平成26 年4月～)に向けて、市内事業者に対す る周知啓発を実施
						ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	0 0	0 0	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 17,340(千円)の一部 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 15,123(千円)の一部	0

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
102	2. ごみは資源、可能な限りリサイクル	徹底した分別によるリサイクルの推進	業種別のきめ細かい取組方法などの事業者向け情報の提供の推進	ごみ減量に向けた事業者の具体的な取組方法などを分かりやすく情報提供します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 ○実施 ○事業用大規模建築物への立入調査による減量指導を実施 (3月末現在1,397件) ○分別啓発パンフレットを活用した啓発を実施 ○三条会商店街においてワーキングショップを実施 (第1回9月、第2回11月、第3回3月) ○事業ごみ減量ニュースレター「ごみゆにけーしょん」を定期的に発行 (5回7,9,11,1,3月発行)	計画 ○事業用大規模建築物への立入調査による減量指導を実施 (2025件) ○事業ごみ減量ニュースレター「ごみゆにけーしょん」を定期的に発行 (4回7,9,11,1月発行)	計画 ○事業用大規模建築物への立入調査による減量指導を実施 (1,257件) ○事業ごみ減量ニュースレター「ごみゆにけーしょん」を定期的に発行(5回)	
						ウチ算額(3万円) 千円 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 21,585(千円)の一部	ウチ算額(3万円) 千円 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 18,790(千円)の一部	ウチ算額(3万円) 千円 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 17,340(千円)の一部	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 15,123(千円)の一部
						エ共算額(5万円) 千円 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 20,147(千円)の一部	エ共算額(5万円) 千円 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 16,668(千円)の一部		
103	2. ごみは資源、可能な限りリサイクル	徹底した分別によるリサイクルの推進	クリーンセンターにおける搬入監視体制の強化と分別資源ごみ及び不適物の受入拒否の実施	クリーンセンターにおいて搬入監視を強化するとともに、分別できない資源ごみ及び不適物の受入拒否を実施します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 ○実施 ○月2回以上の頻度で許可業者や市民持込ごみの展開調査を実施した	計画 ○月2回以上の頻度で許可業者や市民持込ごみの展開調査を実施した	計画 ○月2回以上の頻度で許可業者や市民持込ごみの展開調査を実施した	
						ウチ算額(3万円) 千円 エ共算額(5万円) 千円	ウチ算額(3万円) 千円 エ共算額(5万円) 千円	ウチ算額(3万円) 千円 エ共算額(5万円) 千円	ウチ算額(3万円) 千円 エ共算額(5万円) 千円
104	2. ごみは資源、可能な限りリサイクル	徹底した分別によるリサイクルの推進	使用済てんぷら油などの回収拠点拡大	バイオディーゼルの原料となる使用済てんぷら油の回収拠点の拡大を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ・1,647拠点	計画 イ進捗状況 ・1,686拠点	計画 イ進捗状況 ・1,759拠点	
						ウチ算額(3万円) 千円 エ共算額(5万円) 千円	ウチ算額(3万円) 千円 エ共算額(5万円) 千円	ウチ算額(3万円) 千円 エ共算額(5万円) 千円	ウチ算額(3万円) 千円 エ共算額(5万円) 千円
105	2. ごみは資源、可能な限りリサイクル	地域力を生かした地域密着型の取組の推進	多様な資源物回収拠点の拡大	土・日も開設する「より近い・より便利な」常設の資源物回収拠点の設置・拡大や、公共施設や商業施設における小型家電や携帯電話回収によるレアメタル※30などのリサイクルの推進を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ・101拠点 ・47拠点	計画 イ進捗状況 ・117拠点 ・46拠点	計画 イ進捗状況 ・118拠点 ・46拠点	
						ウチ算額(3万円) 千円 エ共算額(5万円) 千円	ウチ算額(3万円) 千円 エ共算額(5万円) 千円	ウチ算額(3万円) 千円 エ共算額(5万円) 千円	ウチ算額(3万円) 千円 エ共算額(5万円) 千円

整理No	方針	施策	取組	取組概要	A進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
106	2. ごみは資源、可能な限りサイクル	地域力を生かした地域密着型の取組の推進	地域ぐるみの生ごみ・落ち葉などの堆肥化の推進	農家と連携した生ごみの堆肥化による地産地消のモデル地域の構築や、学校や公園の落ち葉、家庭からの生ごみなどの地域単位での堆肥化を促進します。	☒ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 11,142(0) エ決算額(うち国)：千円 4,065(0)	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 38,600(0)の一部 生ごみ減量推進事業 42,700(0)の一部 生ごみ減量推進事業 34,800(0)の一部	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 13,700(0)の一部 生ごみ減量推進事業 12,900(0)の一部	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 9,500(0)
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 8,400(0) エ決算額(うち国)：千円 5,930(0)	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 8,100(0) エ決算額(うち国)：千円 7,234(0)	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 9,500(0)	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 9,500(0)
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 8,400(0) エ決算額(うち国)：千円 5,930(0)	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 8,100(0) エ決算額(うち国)：千円 7,234(0)	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 9,500(0)	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 9,500(0)
107	2. ごみは資源、可能な限りサイクル	「学生のまち、親光のまち」ならでは、環境負荷を低減するごみの取組の推進	エコイベント実施要綱によるエコイベントの取組の推進	イベントグリーン要綱に基づき、学園祭や地域のイベントなどのエコ化を推進することにより、次代を担う若者を中心とした更なる環境意識の向上を図ります。	☒ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 8,400(0) エ決算額(うち国)：千円 5,930(0)	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 8,100(0) エ決算額(うち国)：千円 7,234(0)	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 9,500(0)	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 9,500(0)
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 8,400(0) エ決算額(うち国)：千円 5,930(0)	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 8,100(0) エ決算額(うち国)：千円 7,234(0)	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 9,500(0)	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 9,500(0)
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 8,400(0) エ決算額(うち国)：千円 5,930(0)	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 8,100(0) エ決算額(うち国)：千円 7,234(0)	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 9,500(0)	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 9,500(0)
108	3. ごみは安全に処理して最大限活用	環境負荷を低減するごみの適正処理・運営	ごみ処理施設の経済性に配慮した整備・運営	ごみの減量に際して現行の4工場体制のクリーンセンターを3工場とするなど、経済性に配慮した長寿命化計画による施設の整備・運営を図ります。	☒ 実施済み又は本格実施中 ☐ 実施前最終段階 ☐ 企画構想段階 ☐ 着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 0 エ決算額(うち国)：千円 0	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 0 エ決算額(うち国)：千円 0	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 0 エ決算額(うち国)：千円 0	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 0 エ決算額(うち国)：千円 0
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 0 エ決算額(うち国)：千円 0	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 0 エ決算額(うち国)：千円 0	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 0 エ決算額(うち国)：千円 0	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 0 エ決算額(うち国)：千円 0
						計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 0 エ決算額(うち国)：千円 0	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 0 エ決算額(うち国)：千円 0	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 0 エ決算額(うち国)：千円 0	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)：千円 0 エ決算額(うち国)：千円 0